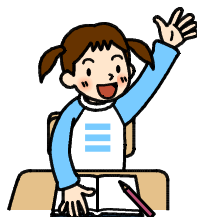


平成24年度 「みやざき小中学校学力・意識調査」 分析結果



目次

I	調査の概要	
1	実施の概要	1
2	学力調査の結果	2
3	意識調査の結果	3
4	分析の概要	4
II	各教科の分析結果	
II-1	小学校 各教科の分析	5
1	小学校5年：国語	5
2	小学校5年：社会	9
3	小学校5年：算数	13
4	小学校5年：理科	17
II-2	中学校 各教科の分析	21
1	中学校2年：国語	21
2	中学校2年：社会	25
3	中学校2年：数学	29
4	中学校2年：理科	33
5	中学校2年：英語	37
III	意識調査の分析結果	
III-1	小学校	41
	「授業」に関すること	41
	「学習」に関すること	42
	「生活」に関すること	43
	「自分」に関すること	44
III-2	中学校	45
	「授業」に関すること	45
	「学習」に関すること	46
	「生活」に関すること	47
	「自分」に関すること	48
※付録	数値についてもっと知りたい!	49
※付録	A層～D層についてもっと知りたい!	50

I 調査の概要

1 実施の概要

調査目的	県内の小・中学校、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校の小・中学部における学力の実態を把握・分析し、その結果をもとに、児童生徒の学力向上に総合的に取り組む。
実施日	平成24年4月17日(火)・18日(水)
調査対象校	市町村立小学校 239校(小学校6校 対象児童なし) 市町村立中学校 134校 五ヶ瀬中等教育学校（前期課程） 宮崎西高等学校附属中学校 都城泉ヶ丘高等学校附属中学校 宮崎大学教育文化学部附属小・中学校 特別支援学校2校（1小学部・2中学部） (小学校 10,836人、中学校 10,438人)
対象学年	小学校（小学部）第5学年
	中学校（中学部）第2学年
調査実施内容	<学力調査> ○ 小学校（小学部）第5学年 国語、社会、算数、理科 ○ 中学校（中学部）第2学年 国語、社会、数学、理科、英語 ※ 学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、それぞれの教科の観点に沿った内容で調査を実施する。
	<意識調査> ○ 小学校（小学部）第5学年、中学校（中学部）第2学年 ※ 学習に対する意欲や取組の状況、学習習慣や学習を支える基礎となる体験の状況、読書の状況等について、アンケート方式で調査を実施し、学力調査結果とのクロス分析を行う。

2 学力調査の結果

■ 小学校第5学年の平均到達度及び達成率 (％)

		全県	全県の階層に含まれる児童の割合			
			A層	B層	C層	D層
平均到達度	国語	58.5	24.2	44.9	24.4	6.5
	社会	55.2	18.9	45.6	28.5	7.0
	算数	51.7	9.9	43.9	39.0	7.2
	理科	63.8	26.2	53.8	17.6	2.4
達成率	国語	43.4	100.0	42.7	0.0	0.0
	社会	24.5	100.0	12.4	0.0	0.0
	算数	13.6	100.0	8.6	0.0	0.0
	理科	33.3	100.0	13.4	0.0	0.0

■ 中学校第2学年の平均到達度及び達成率 (％)

		全県	全県の階層に含まれる生徒の割合			
			A層	B層	C層	D層
平均到達度	国語	54.1	17.0	43.2	29.8	10.0
	社会	44.4	7.7	34.6	38.5	19.2
	数学	45.1	12.6	31.0	36.1	20.3
	理科	44.2	8.6	32.9	42.1	16.5
	英語	55.6	20.3	39.8	31.9	8.0
達成率	国語	34.2	100.0	40.0	0.0	0.0
	社会	13.6	100.0	17.2	0.0	0.0
	数学	21.0	100.0	27.0	0.0	0.0
	理科	15.2	100.0	20.1	0.0	0.0
	英語	35.8	100.0	39.1	0.0	0.0

※ 到達度とは、各所属の児童生徒が正答及び準正答である問題数の割合を示したものである。「平均到達度」とは、児童生徒の到達度を平均した数値を示したものである。

※ 学習到達度調査におけるA層～D層は、県内の児童生徒の各調査教科における最高点（到達度）と最低点（到達度）の範囲を上位の得点から4等分して表示したものである。

※ 「全県の階層に含まれる児童生徒の割合」とは、県全体の各階層に、所属の児童生徒がそれぞれ何%含まれているかを示したものである。

※ 「達成率」とは、到達度が目標値に達している児童生徒の割合を示したものである。目標値とは、各教科、各問題ごとに設定されためざす値（設定通過率）の平均を示したものである。

※ 全教科のA層～D層の結果と、意識調査の結果とを比較することで、学力と意識との関連を見つけることができる。

3 意識調査の結果

■ 小学校第5学年の肯定的回答の割合

□ 学習意識調査

(%)

	全県	全県の階層に含まれる児童で肯定的な回答をした割合			
		A層	B層	C層	D層
授業に関すること	83.2	88.7	84.8	78.0	68.1
学習に関すること	59.4	63.0	59.8	57.0	52.5
生活に関すること	70.1	74.8	70.7	66.6	60.8
自分に関すること	86.6	91.2	87.7	82.8	72.4

■ 中学校第2学年の肯定的回答の割合

□ 学習意識調査

(%)

	全県	全県の階層に含まれる生徒で肯定的な回答をした割合			
		A層	B層	C層	D層
授業に関すること	74.8	82.9	78.5	72.8	62.1
学習に関すること	55.8	63.1	59.3	54.0	44.1
生活に関すること	58.6	62.1	60.5	57.7	51.9
自分に関すること	82.6	86.9	85.2	81.7	73.0

※ 肯定的回答の割合

学習意識調査におけるA層～D層は、全調査教科(小学校4教科、中学校5教科)の合計到達度における最高点(到達度)と最低点(到達度)の範囲を上位から4等分して表示したものであり、各層の児童生徒が学習意識調査において、肯定的な回答をした人数の割合を表している。

4 分析の概要

■ 学力に関する分析

□ 小学校の社会、算数、中学校の社会、数学、理科に課題がみられる。

小学校の社会、算数について、達成率（＝目標値に到達した受検者の割合）が低い。中学校の社会、数学、理科についても同様である。これらの教科については、設問別通過率の低い問題を分析し、児童生徒のつまずきの原因を把握して授業改善の手立てを講じ、今後の指導に生かすことが必要である。

□ 小学校と中学校で、全県の各階層に含まれる児童生徒の割合にばらつきがみられる。

小学校の全教科について、全県の各階層に含まれる児童の割合をみると、国語、社会、算数、理科の4教科とも、B層に含まれる児童の割合が最も高い。中学校では国語、英語の2教科は、B層に含まれる生徒の割合が、社会、数学、理科の3教科は、C層に含まれる生徒の割合が最も高い。小・中学校ともに、各教科の到達度分布状況を細かく分析し、特にC層、D層の児童生徒に対して、より一層個に応じたきめ細かな指導を行うことが必要である。

■ 意識に関する分析

□ 小学校と中学校で、「授業」、「学習」に関する項目に課題がみられる。

小・中学校ともに肯定的な回答をした割合が低いのは、「学習」に関する項目である。また、「授業」に関する項目については、小・中学校ともに昨年度よりも肯定的な回答をした児童生徒の割合がやや低くなっている。学校や家庭での学習の仕方等について、具体的な指導が大切である。

□ 中学校で、「生活」に関する項目が小学校より下がっている。

中学校で小学校よりも肯定的な回答をした割合が特に低いのは、「1か月の読書量」、「外で遊ぶ」、「公民館や地域の活動に参加する」という内容である。中学校では部活動があり、学校外で過ごす時間が短くなることが関係していると考えられる。

■ 学力と意識の関係分析

□ 小学校では「授業」と「自分」、中学校では「授業」と「学習」に関する項目で、学力との関連がみられる。

意識調査において、A層とD層の肯定的な回答に大きな差がみられる項目は、小学校では「授業」と「自分」、中学校では「授業」と「学習」に関する項目である。特に、小・中学校ともに、「授業」に関する項目で、学力と意識との間に深い関連がみられる。小・中学校ともに、学力が高いと意識も肯定的な傾向がみられる。

□ 小学校と中学校で、肯定的な回答をした児童生徒の割合と学力に関連がみられる。

「全県の各階層に含まれる児童生徒で肯定的な回答をした割合」をみると、小・中学校ともに、全ての項目で、県の平均到達度がB層からC層の間にあり、学力と意識との関連がみられる。このことから、小・中学校ともに、下位層の児童生徒に対して、学習の習慣や方法を身に付けさせたり、家庭での生活を見直したり、家族との会話を大切にしたりするよう家庭と協力して指導を行い、自己肯定感をもたせることが大切である。

II 各教科の分析結果

II-1 小学校 各教科の分析

1 小学校5年:国 語

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

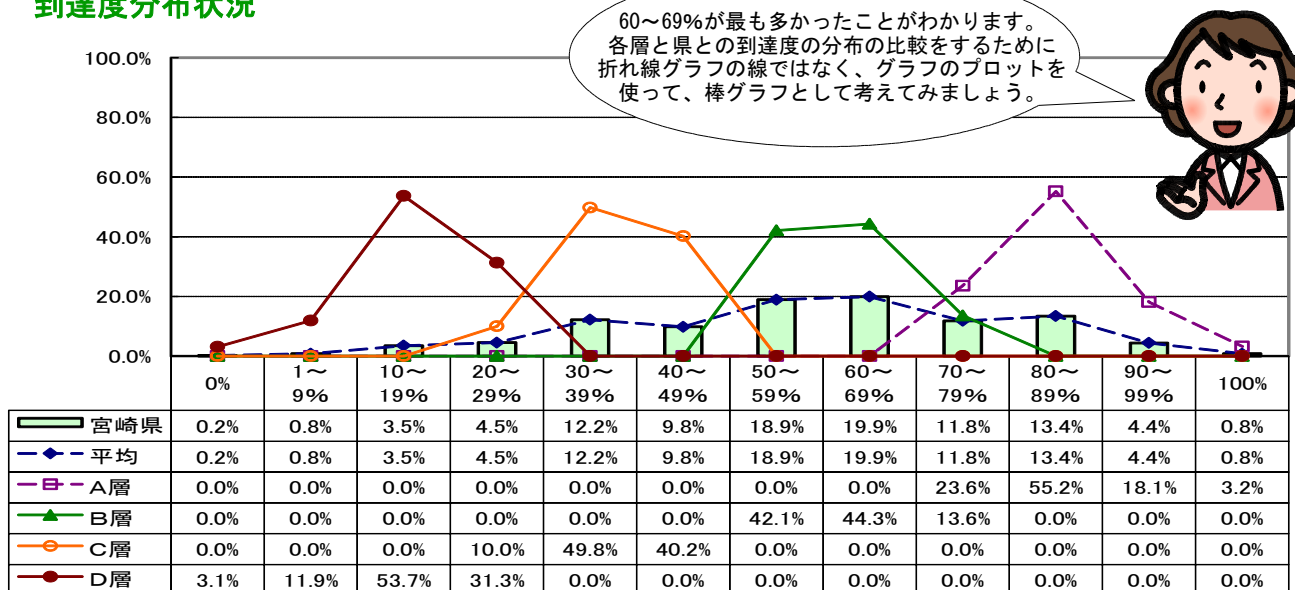
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等						
			A層	B層	C層	D層			
平均到達度	観点	教科全体	58.5	84.6	61.6	37.9	16.7		
		読む能力	57.0	84.0	59.6	36.2	16.1		
		言語についての知識・理解・技能	60.9	85.4	64.2	41.7	19.5		
		話す・聞く能力	54.1	83.9	58.1	29.2	8.4		
	領域	読むこと	57.0	84.0	59.6	36.2	16.1		
		言語事項	60.9	85.4	64.2	41.7	19.5		
		話すこと・聞くこと	54.1	83.9	58.1	29.2	8.4		
		基礎的・基本的な内容	67.1	88.4	70.9	50.3	24.6		
	分類	課題を解決する力	50.3	80.6	52.5	26.8	10.0		
		活用する力	47.1	81.8	50.2	18.6	2.6		
		達成率	観点	教科全体	43.4	100.0	42.7	0.0	0.0
				読む能力	48.0	98.9	51.8	3.4	0.0
言語についての知識・理解・技能	49.9			99.0	56.0	3.0	0.0		
話す・聞く能力	22.9			58.6	18.4	2.0	0.0		
領域	読むこと		48.0	98.9	51.8	3.4	0.0		
	言語事項		49.9	99.0	56.0	3.0	0.0		
	話すこと・聞くこと		22.9	58.6	18.4	2.0	0.0		
	基礎的・基本的な内容		57.6	99.6	70.8	6.8	0.0		
分類	課題を解決する力		37.6	97.3	31.0	0.3	0.0		
	活用する力		28.1	66.6	24.6	3.8	0.0		

目標値	観点	教科全体	65.0
		読む能力	62.3
		言語についての知識・理解・技能	65.4
		話す・聞く能力	73.3
	領域	読むこと	62.3
		言語事項	65.4
		話すこと・聞くこと	73.3
		基礎的・基本的な内容	67.7
	分類	課題を解決する力	60.9
		活用する力	70.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



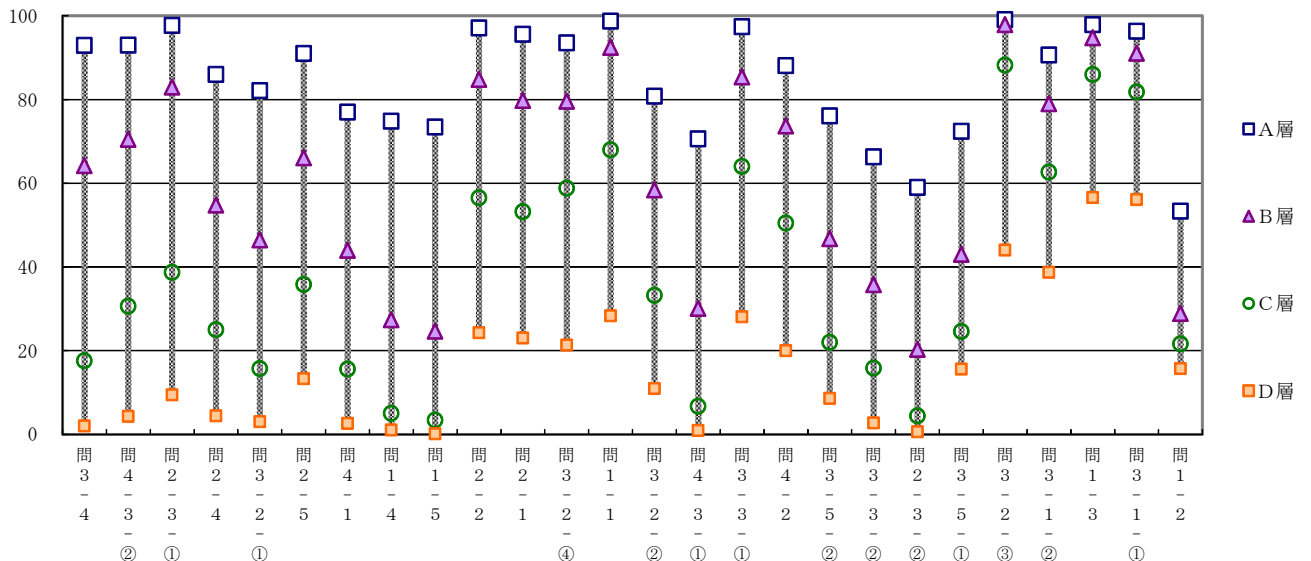
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	内容の理解	読むこと	読む能力	B1	83.8	98.7	92.4	68.0	28.3	70.4	1.4
2	1	2	心情の理解	読むこと	読む能力	B1	32.1	53.3	28.8	21.6	15.7	37.6	1.0
3	1	3	適語補充	読むこと	読む能力	A	90.9	97.9	94.7	86.0	56.6	41.3	0.6
4	1	4	心情の理解	読むこと	読む能力	B1	31.7	74.8	27.3	5.0	1.0	73.8	26.3
5	1	5	内容の理解	読むこと	読む能力	B1	29.7	73.4	24.6	3.4	0.1	73.3	24.9
6	2	1	内容の理解	読むこと	読む能力	A	73.4	95.6	79.7	53.2	23.0	72.6	0.5
7	2	2	接続語の選択	読むこと	読む能力	A	76.9	97.1	84.7	56.5	24.3	72.8	0.5
8	2	3	文章構成の理解	読むこと	読む能力	B1	70.9	97.7	82.9	38.7	9.4	88.3	5.6
9	2	3	指示する内容の理解	読むこと	読む能力	B1	24.5	59.0	20.2	4.4	0.6	58.4	22.1
10	2	4	内容の理解	読むこと	読む能力	B1	51.8	86.0	54.7	25.0	4.4	81.6	16.4
11	2	5	内容の理解	読むこと	読む能力	B1	61.3	91.0	66.0	35.8	13.3	77.7	12.3
12	3	1	筆順の理解	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	87.7	96.3	91.0	81.8	56.1	40.2	0.3
13	3	1	筆順の理解	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	75.2	90.6	78.9	62.7	38.7	51.9	0.4
14	3	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	44.7	82.1	46.4	15.7	3.0	79.1	23.7
15	3	2	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	54.6	80.8	58.3	33.2	10.9	69.9	18.4
16	3	2	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	92.3	99.1	97.8	88.2	44.0	55.1	2.6
17	3	2	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	74.1	93.5	79.5	58.8	21.3	72.2	6.4
18	3	3	慣用句の使い方	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	79.3	97.4	85.3	64.0	28.1	69.3	6.7
19	3	3	慣用句の使い方	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	36.1	66.3	35.7	15.8	2.7	63.6	25.0
20	3	4	漢字辞典の用法	言語事項	言語についての知識・理解・技能	B1	55.7	92.9	64.1	17.6	2.0	90.9	19.3
21	3	5	故事成語の使い方	言語事項	言語についての知識・理解・技能	B1	43.8	72.4	42.9	24.6	15.6	56.8	8.1
22	3	5	修飾・被修飾の関係	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	45.3	76.1	46.7	22.0	8.6	67.5	9.0
23	4	1	述語の使い方	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	42.3	77.0	43.9	15.6	2.6	74.4	22.1
24	4	2	話の中心を聞き取り質問すること	話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	B1	68.0	88.1	73.6	50.5	20.0	68.1	9.2
25	4	3	目的に応じてメモをとること	話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	B2	32.3	70.6	30.0	6.7	0.9	69.7	19.0
26	4	3	目的に応じてメモをとること	話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	B2	61.9	93.0	70.4	30.6	4.3	88.7	16.1

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別：各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 話す・聞く能力** — 話の内容に関心をもって聞き、目的に応じてメモを取ったり、質問をしたりすることができるかどうかをみる問題。
(例) ■メモの取り方の工夫を比較し、共通点や相違点をとらえる。
■話の組立てを意識しながら話の要点を聞き取って質問をする。
- 読む能力** — 書かれている内容を理解するための基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■叙述を基に登場人物の心情をとらえたり、内容を正しく読み取ったりする。
■目的に応じて、文章の要点をとらえたり、文章の構成を考えながら、筆者の主張を的確にとらえたりする。
- 言語についての知識・理解・技能** — 言語事項に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする。
■漢字辞典の使い方を理解する。
■文脈に即して慣用句や故事成語を正しく使う。

■ 課題等

話すこと・聞くこと

- ◆ 話すこと・聞くことの平均到達度は54.1%であり、領域の目標値73.3%をかなり下回っており、話の中心を聞き取って質問をしたり、目的に応じてメモを取ったりすることに課題がある。

読むこと

- ◇ 文学的な文章で、叙述を基に文脈から適切な語句をとらえる問題は、領域の目標値をかなり上回っている。
- ◆ 読むことの平均到達度は57.0%であり、領域の目標値62.3%を下回っている。
- ◆ 文学的な文章で、登場人物の心情を理解する問題（大問1小問2、4）の設問別通過率の平均は31.9%、内容を理解する問題（大問1小問5）の設問別通過率は29.7%であり、それぞれ領域の目標値をかなり下回っている。叙述を基に登場人物の気持ちを想像したり、登場人物の行動を中心に場面の移り変わりをとらえたりすることに課題がある。
- ◆ 文章の構成を考えて内容を的確にとらえ、指定された文字数で抜き出すことに課題がある。中学校でも同様の傾向が見られる。

言語事項

- ◇ 筆順を理解する問題（大問3小問1①②）の設問別通過率の平均は81.5%、漢字を正しく読む問題（大問3小問2③④）の設問別通過率の平均は83.2%であり、それぞれ領域の目標値65.4%をかなり上回っている。
- ◆ 慣用句や故事成語、述語の正しい使い方を理解すること、修飾・被修飾の関係を正確に理解すること、漢字辞典の正しい使い方を理解することに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

- **話し手の意図を考えながら聞き、目的や必要に応じて質問をしたり、メモを取ったりする言語活動の充実**
 - ・ 質問をするときには、例えば、「話し手の意図を考え、伝えたい事柄をより深めるための質問」、「自分の理解度を確認するための質問」、「自分の意見と比べるための質問」などのような、観点に合わせた質問が工夫できるよう指導することが大切である。
 - ・ メモを取りながら話を聞くときには、例えば、「取ったメモをどのように生かしたいのかを意識させる」、「話の内容の全てをメモに取るのではなく、重要な語句や話の中心をキーワードとして取り出させる」、「箇条書きや図式化をさせる」などのような、具体的な指導の手立てを工夫することが大切である。

読むこと

- **叙述を基に登場人物の心情や場面の移り変わりをとらえる言語活動の充実**
 - ・ 登場人物の行動や会話、情景描写に注意しながら、登場人物の心情を読み取らせることが大切である。
 - ・ 場面の移り変わりをとらえるときには、例えば、「時間の変化」、「場所の移動」、「人物の変化」などのような、読みの視点を与えた指導を工夫することが大切である。
 - ・ 「読むこと」の領域の学習指導を行うに当たっては、読み取った内容を条件に応じて記述するような活動を1単位時間の中に設定し、理解をより一層深めることができるよう小中一貫して指導を行う必要がある。
- **文章の構成を考え内容を的確にとらえる言語活動の充実**
 - ・ 目的に応じて文章を読み、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えて全体の構成を把握し、自分の考えをまとめたりしながら「読むこと」の指導を行うことが大切である。

言語事項

- **我が国の伝統的な言語文化に興味・関心をもたせる言語活動の充実**
 - ・ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の指導を通して、慣用句や故事成語に親しみをもたせ、実際の言語生活で用いるようにさせることが大切である。
- **文及び文章の構成について正しく理解する言語活動の充実**
 - ・ 主語と述語の関係や修飾と被修飾の関係をはっきりさせるとともに、「だれが」、「いつ」、「どこで」、「なにを」、「どのように」、「なぜ」などのような、文の構成について、初歩的な理解ができるように指導することが大切である。
- **国語辞典や漢字辞典などを日常的に活用する言語活動の充実**
 - ・ 国語辞典や漢字辞典などの使い方を理解するとともに、必要なときにはいつでも辞書が手元にあり、使えるような言語環境を整えておくことが重要である。

2 小学校5年:社 会

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

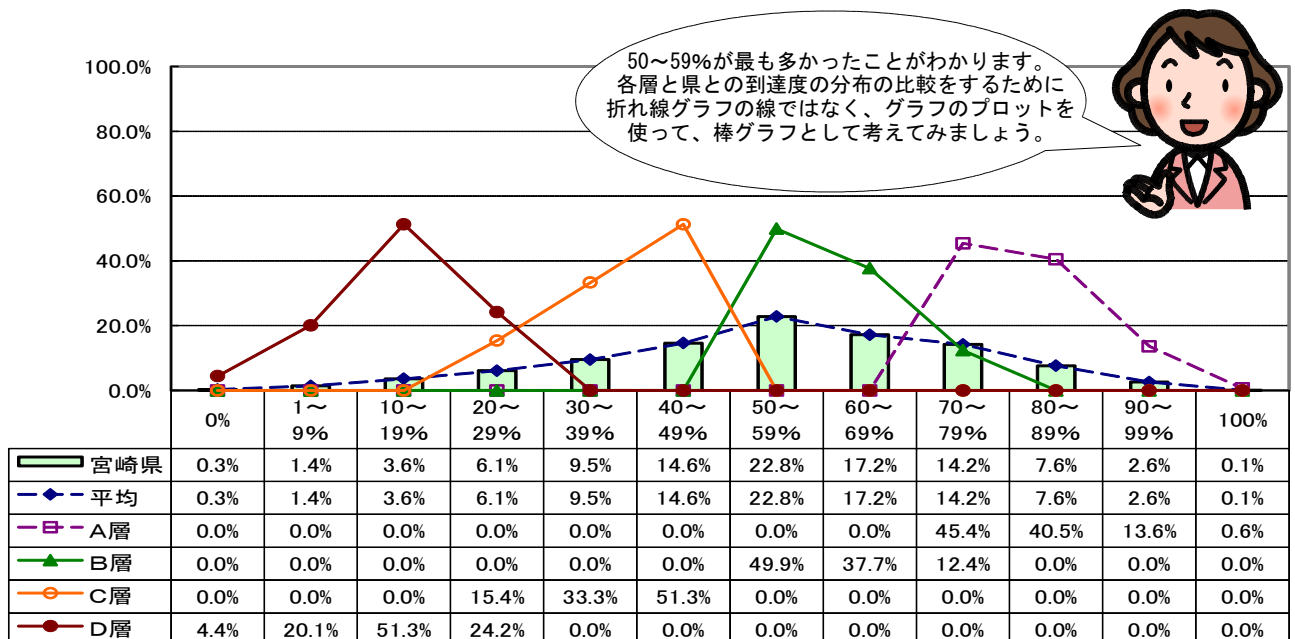
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等				
			A層	B層	C層	D層	
平均到達度	観点	教科全体	55.2	81.8	61.0	38.2	14.9
		知識・理解	60.9	85.0	66.5	45.7	21.1
		資料活用	54.8	80.4	60.2	38.8	15.1
		思考・判断	50.9	80.4	57.1	31.5	9.5
	領域	身近な地域	57.0	81.0	62.1	41.7	20.6
		県の様子	56.2	82.8	61.5	39.7	16.6
		生産や販売の仕事	47.3	75.5	52.5	28.9	11.7
		安全を守る工夫	76.3	95.9	86.1	61.5	18.8
		人々の生活	36.1	70.3	38.9	16.4	5.7
	分類	地域の人々の生活	66.6	89.8	74.2	50.0	21.3
		基礎的・基本的な内容	62.1	85.7	68.0	47.2	20.4
		課題を解決する力	57.4	84.6	65.0	38.3	12.7
達成率	観点	活用する力	33.9	66.9	36.1	15.7	5.2
		教科全体	24.5	100.0	12.4	0.0	0.0
		知識・理解	29.3	82.0	28.4	2.7	0.0
		資料活用	18.9	69.6	12.5	0.2	0.0
	領域	思考・判断	22.3	79.6	15.7	0.1	0.0
		身近な地域	33.6	74.7	36.8	8.9	1.6
		県の様子	34.9	78.2	37.1	10.8	0.7
		生産や販売の仕事	32.6	75.6	35.2	7.8	0.4
		安全を守る工夫	63.7	97.3	80.0	30.9	0.4
	分類	人々の生活	12.8	54.4	5.6	0.0	0.0
		地域の人々の生活	60.8	95.2	73.1	32.0	4.6
		基礎的・基本的な内容	38.7	97.2	43.7	1.5	0.0
分類	課題を解決する力	37.9	94.4	42.9	1.6	0.0	
	活用する力	19.4	66.3	14.5	0.8	0.0	

目標値	観点	教科全体	70.8
		知識・理解	74.0
		資料活用	70.5
		思考・判断	68.3
	領域	身近な地域	74.0
		県の様子	73.0
		生産や販売の仕事	72.5
		安全を守る工夫	72.5
		人々の生活	65.6
	分類	地域の人々の生活	70.0
		基礎的・基本的な内容	73.0
		課題を解決する力	71.4
活用する力	64.2		



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



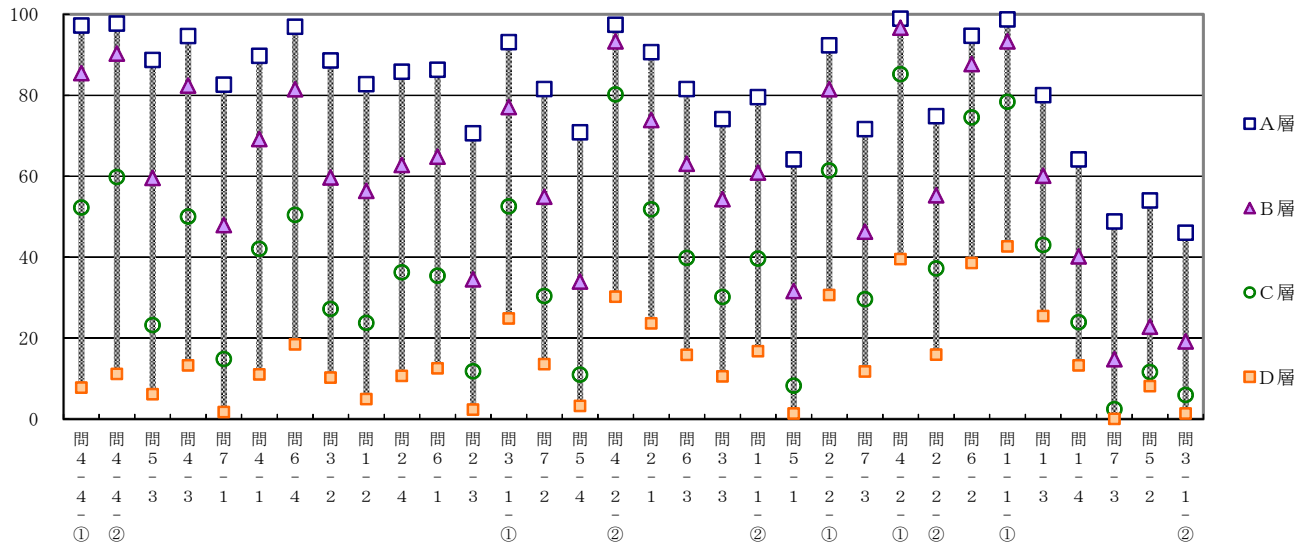
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数值は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	地図の読み取り	身近な地域	知識・理解	A	86.5	98.7	93.2	78.4	42.6	56.1	2.4
2	1	1	地図の読み取り	身近な地域	知識・理解	A	55.2	79.5	60.8	39.6	16.7	62.8	2.3
3	1	2	地図の読み取り	身近な地域	知識・理解	A	48.4	82.7	56.3	23.7	4.9	77.8	4.5
4	1	3	地図の読み取り	身近な地域	知識・理解	A	56.5	80.0	60.0	43.0	25.4	54.6	2.4
5	1	4	地図の読み取り	身近な地域	資料活用	B1	38.1	64.1	40.1	23.9	13.2	50.9	4.3
6	2	1	県の特徴	県の様子	知識・理解	A	67.2	90.6	73.8	51.8	23.6	67.0	7.2
7	2	2	県の特徴	県の様子	知識・理解	A	74.2	92.3	81.4	61.4	30.6	61.7	5.3
8	2	2	県の特徴	県の様子	知識・理解	A	51.0	74.8	55.2	37.2	15.9	58.9	6.8
9	2	3	都道府県の名称と位置	県の様子	知識・理解	A	32.6	70.6	34.4	11.8	2.3	68.3	20.9
10	2	4	県の特徴	県の様子	知識・理解	A	55.9	85.8	62.7	36.2	10.6	75.2	21.4
11	3	1	生産の仕事	生産や販売の仕事	資料活用	B1	69.4	93.1	77.0	52.5	24.8	68.3	1.8
12	3	1	生産の仕事	生産や販売の仕事	資料活用	B2	19.2	46.0	19.1	5.9	1.3	44.7	17.7
13	3	2	生産の仕事	生産や販売の仕事	思考・判断	B1	52.4	88.6	59.6	27.2	10.2	78.4	2.4
14	3	3	生産の仕事	生産や販売の仕事	思考・判断	B1	48.0	74.1	54.2	30.1	10.5	63.6	1.9
15	4	1	事故や事件から守る仕事	安全を守る工夫	資料活用	A	61.2	89.7	69.1	42.0	11.0	78.7	1.8
16	4	2	事故や事件から守る仕事	安全を守る工夫	資料活用	A	89.8	98.9	96.6	85.2	39.5	59.4	2.4
17	4	2	事故や事件から守る仕事	安全を守る工夫	資料活用	A	85.9	97.4	93.2	80.2	30.2	67.2	2.6
18	4	3	事故や事件から守る仕事	安全を守る工夫	思考・判断	B1	70.6	94.6	82.3	50.0	13.2	81.4	5.6
19	4	4	事故や事件から守る仕事	安全を守る工夫	思考・判断	B1	72.7	97.2	85.4	52.2	7.7	89.5	10.1
20	4	4	事故や事件から守る仕事	安全を守る工夫	思考・判断	B1	77.4	97.7	90.2	59.8	11.1	86.6	10.8
21	5	1	廃棄物の処理	人々の生活	資料活用	A	28.9	64.1	31.5	8.2	1.3	62.8	7.8
22	5	2	廃棄物の処理	人々の生活	思考・判断	B1	24.4	54.0	22.7	11.6	8.1	45.9	14.7
23	5	3	廃棄物の処理	人々の生活	思考・判断	B1	51.0	88.7	59.5	23.2	6.1	82.6	15.0
24	5	4	廃棄物の処理	人々の生活	思考・判断	B2	32.2	70.8	33.9	10.9	3.2	67.6	35.5
25	6	1	古い道具と昔の暮らし	地域の人々の生活	資料活用	A	56.8	86.3	64.7	35.4	12.5	73.8	15.6
26	6	2	古い道具と昔の暮らし	地域の人々の生活	知識・理解	A	81.8	94.7	87.6	74.5	38.5	56.2	3.3
27	6	3	古い道具と昔の暮らし	地域の人々の生活	資料活用	B1	56.6	81.5	63.0	39.8	15.8	65.7	5.6
28	6	4	古い道具と昔の暮らし	地域の人々の生活	思考・判断	B1	71.1	96.9	81.4	50.4	18.4	78.5	5.3
29	7	1	資料活用	人々の生活	資料活用	B2	41.8	82.6	47.8	14.8	1.7	80.9	36.6
30	7	2	資料活用	人々の生活	思考・判断	B2	50.0	81.5	54.8	30.4	13.5	68.0	12.9
31	7	3	資料活用	人々の生活	思考・判断	B2	43.9	71.6	46.2	29.6	11.7	59.9	15.2
32	7	3	資料活用	人々の生活	思考・判断	B2	16.6	48.8	14.7	2.4	0.0	48.8	21.4

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

知識・理解— 社会的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかをみる問題。

- (例) ■都道府県の位置及び宮崎県の特色について理解する。
■主な地図記号や方位などを理解する。

資料活用— 社会的事象を観察、調査したり、複数の資料を効果的に活用したりして、必要な情報をまとめることができるかどうかをみる問題。

- (例) ■地図やグラフを正しく読み取る。
■資料から考察し、文章で表現する。

思考・判断— 社会的事象の特色や相互の関連について考えることができるかどうかをみる問題。

- (例) ■資料から安全を守る工夫について考える。
■資料から見つけた根拠を基に自分の考えをもち、説明する。

■ 課題等

身近な地域

- ◆ 地図上の方位を調べる問題（大問1小問2）は、設問別通過率が48.4%であり、領域の目標値74.0%をかなり下回っている。四方位の知識・理解に課題がある。
- ◆ 絵地図にかかれた地図記号をもとに、まわりの様子を読み取る問題（大問1小問4）は、設問別通過率38.1%であり、地図記号などの資料活用に課題がある。

県の様子

- ◆ 県内の特色ある農業（宮崎平野のきゅうり栽培）について答える問題（大問2小問2）は、設問別通過率51.0%であり、領域の目標値73.0%をかなり下回っている。
- ◆ 都道府県の位置（「広島県」、「愛媛県」）を答える問題（大問2小問3）は、設問別通過率32.6%であり、47都道府県の名称と位置の知識・理解に課題がある。

生産や販売の仕事

- ◆ 資料をもとに生産者の工夫について答える問題（大問3小問1②）は、設問別通過率19.2%であり、領域の目標値72.5%をかなり下回っている。

安全を守る工夫

- ◇ 領域別の平均到達度は76.3%であり、目標値72.5%を3.8ポイント上回っている。昨年度と同様、他の領域に比べて到達度がかかなり高い。

地域の人々の生活

- ◇ 昔の道具の用途について答える問題（大問6小問2）は、設問別通過率81.8%であり、観点別の目標値74.0%を上回っている。
- ◆ 領域別の平均到達度は66.6%であり、目標値70.0%をやや下回っている。古い道具の工夫について資料から読み取ることに課題がある。

人々の生活

- ◆ 2つのグラフをもとに学習問題を設定する問題（大問5小問2）は、設問別通過率24.4%であり、領域の目標値65.6%をかなり下回っている。
- ◆ ごみを減らす取り組みとして、自分にできることを記述する問題（大問5小問4）は、設問別通過率32.2%であり、無解答率も高い。資料と自分の経験をもとに自分の考えを書くことに課題がある。
- ◆ 予想を検証する上で適切な資料を選択し、根拠に基づいて自分の考えを記述する問題（大問7小問3）は、設問別通過率16.6%であり、全設問の中で最も低い。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

身近な地域

○ 地図（絵地図）の活用を重視

- ・ 地図を読み取ったり、地図に表したりする際に必要となる方位や主な地図記号の知識・理解について、確実な定着を図ることが重要である。
- ・ 屋上や小高い山など高いところから身近な地域の景観を展望、観察したり、ちようかんず鳥瞰図や立体地図、空中写真などを活用したりして、絵地図と関連させながら身近な地域や市、町、村の特色をとらえさせる指導を行う必要がある。

県の様子

○ 県の特色及び47都道府県の名称と位置を調べる学習を重視

- ・ 県内の特色ある地域をとらえさせる際に、自然環境、伝統や文化、産業などからみて特色ある地域を選択し、地図や収集した各種資料を活用して、県全体の特色を具体的に考えさせる指導を行うことが大切である。
- ・ 47都道府県の名称と位置を地図帳で確かめ、その名称を白地図に書き表すなどの活動をくり返し行うことが重要である。

生産や販売の仕事

○ 見学やインタビューなどで調査したことを適切にまとめる学習を重視

- ・ 地域の農家や工場、商店などを直接見学して、働く人の工夫や努力を具体的に調査した上で、その結果や具体的な資料を効果的に活用し、表現する力を育てる指導を行う必要がある。
- ・ 具体的に調査する学習を通して、生産者及び販売者の仕事の工夫と自分たちの生活とのかかわりについて気付くようにさせる指導を一層充実させる必要がある。

地域の人々の生活

○ 人々の生活の変化を具体的にとらえさせる学習を重視

- ・ 古くから残る暮らしにかかわる道具と、それらを使っていたころの暮らしの様子を具体的に調べる活動を行い、地域の人々の生活について、今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵や願いを考えさせたり表現させたりする指導を行うことが大切である。

人々の生活

○ 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の学習では、具体的な資料の活用を重視

- ・ 廃棄物の処理の学習では、廃棄物の行方を調査する活動や、廃棄物の量やその変化などを調べる学習を行い、資料やグラフなどから廃棄物の全体的な傾向や増減などに気付かせるとともに、自らも社会の一員として廃棄物の適切な処理や再利用などに協力しようとする態度を育てることが重要である。

○ 自分の考えの根拠を資料から読み取り、表現させる学習を重視

- ・ 全ての領域において、授業の中で根拠となる事実や資料を基に、自分の考えや立場を図や文章で表現する学習場面を設けることが大切である。

3 小学校5年:算 数

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

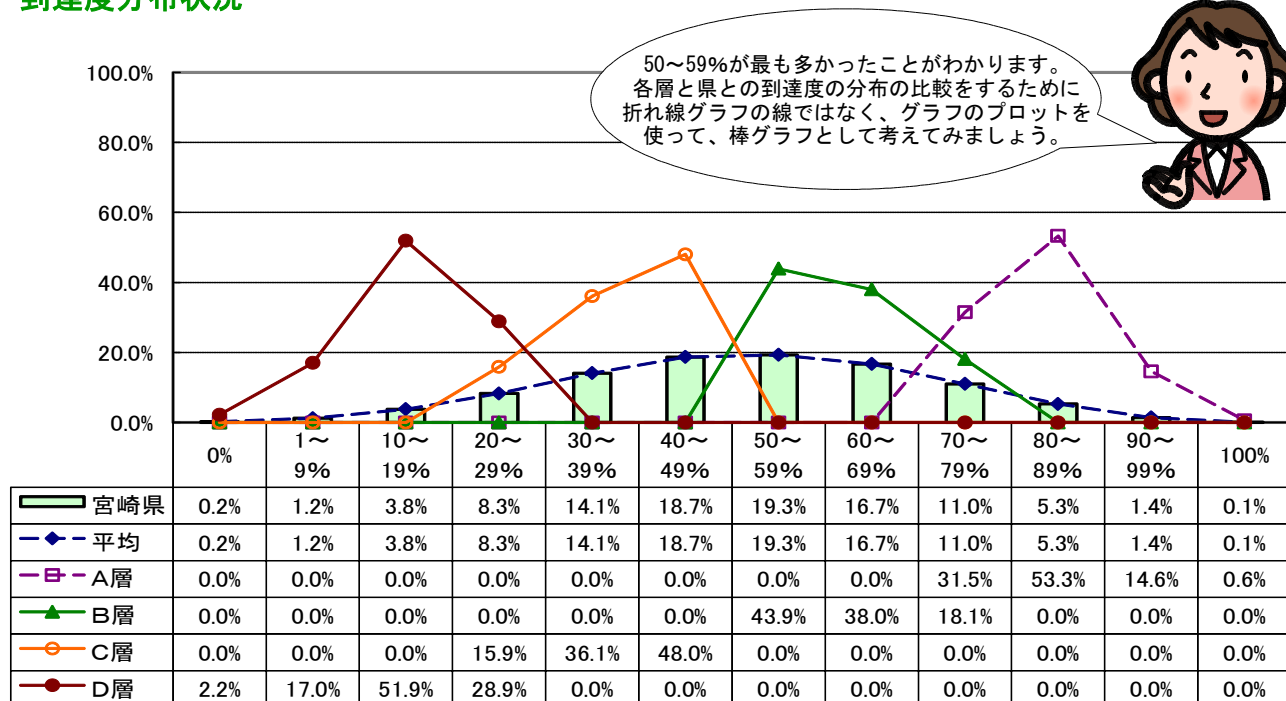
観点・領域・分類			全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等			
				A層	B層	C層	D層
平均到達度	観点	教科全体	51.7	82.8	61.7	39.0	16.5
		知識・理解	39.2	79.7	50.1	22.8	6.2
		技能	79.6	96.0	88.7	72.9	37.8
		数学的な考え方	34.8	73.3	45.0	19.1	4.1
	領域	数と計算	64.2	89.1	72.5	54.8	30.1
		量と測定	44.1	80.6	53.0	30.6	12.9
		図形	49.6	85.5	61.4	34.4	10.7
	分類	数量関係	45.0	77.8	56.1	30.9	9.0
		基礎的・基本的な内容	65.7	89.2	74.6	56.6	28.4
達成率	観点	課題を解決する力	44.8	86.4	57.5	27.1	7.5
		活用する力	32.2	67.4	41.6	18.1	3.3
		教科全体	13.6	100.0	8.6	0.0	0.0
		知識・理解	18.6	83.6	23.2	0.4	0.0
	領域	技能	64.7	99.7	89.8	39.6	0.0
		数学的な考え方	10.0	78.5	5.2	0.0	0.0
		数と計算	29.3	93.2	41.8	4.5	0.0
	分類	量と測定	25.4	83.8	34.1	5.4	0.4
		図形	35.4	88.4	50.1	12.0	0.4
目標値	領域	数量関係	19.2	91.2	23.0	0.1	0.0
		基礎的・基本的な内容	28.1	94.7	41.4	1.4	0.0
	分類	課題を解決する力	20.5	93.9	25.3	0.3	0.0
		活用する力	6.2	47.1	3.6	0.0	0.0
		教科全体	71.8				

目標値	観点	教科全体	71.8
		知識・理解	68.6
		技能	79.5
		数学的な考え方	66.9
	領域	数と計算	73.5
		量と測定	73.8
		図形	75.0
	分類	数量関係	68.8
		基礎的・基本的な内容	76.0
		課題を解決する力	70.0
活用する力	65.6		



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



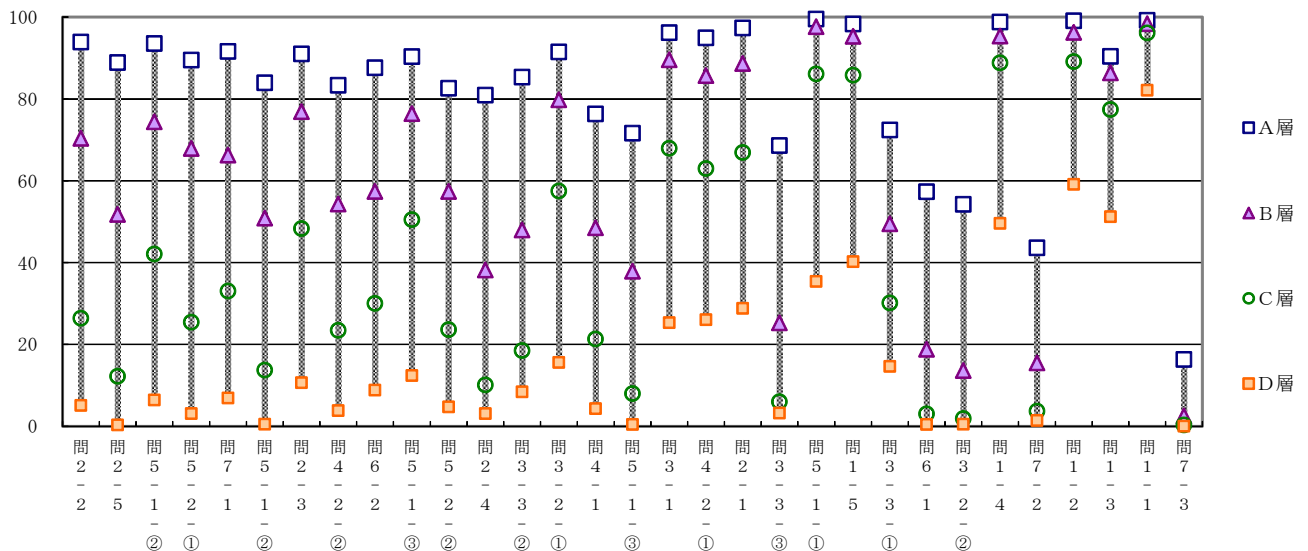
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層～D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	小数の加法の計算	数と計算	技能	A	96.3	99.2	98.3	96.1	82.1	17.1	0.1
2	1	2	小数の減法の計算	数と計算	技能	A	91.0	99.1	96.2	89.1	59.1	40.0	0.1
3	1	3	2位数×2位数の計算	数と計算	技能	A	80.7	90.4	86.3	77.4	51.2	39.2	0.4
4	1	4	3位数÷1位数の計算	数と計算	技能	A	89.8	98.8	95.3	88.8	49.6	49.2	1.5
5	1	5	四則の混合した計算	数量関係	技能	A	87.9	98.3	95.2	85.8	40.2	58.1	1.4
6	2	1	大きな数の大小関係	数と計算	技能	A	76.7	97.3	88.6	66.9	28.8	68.5	2.0
7	2	2	計算のきまり	数量関係	知識・理解	A	50.8	93.9	70.3	26.4	5.1	88.8	7.3
8	2	3	小数×整数	数と計算	技能	A	62.3	91.0	76.8	48.3	10.6	80.4	5.1
9	2	4	分数の大小関係	数と計算	知識・理解	A	28.9	80.9	38.1	10.1	3.1	77.8	5.0
10	2	5	四捨五入による概数の表し方	数と計算	知識・理解	B1	36.2	88.9	51.7	12.2	0.3	88.6	11.0
11	3	1	分度器を使っての角の大きさの測定	量と測定	技能	B1	77.1	96.2	89.5	67.9	25.3	70.9	2.0
12	3	2①	小数の意味	数と計算	知識・理解	A	67.6	91.5	79.7	57.5	15.6	75.9	3.1
13	3	2②	分数の意味	数と計算	知識・理解	A	12.0	54.2	13.5	1.9	0.5	53.7	27.5
14	3	3①	およその面積	量と測定	知識・理解	A	41.6	72.4	49.4	30.1	14.6	57.8	4.6
15	3	3②	正方形を組み合わせた図形の面積	量と測定	数学的な考え方	B1	37.3	85.3	47.9	18.5	8.4	76.9	9.8
16	3	3③	40平方センチメートルの大きさ	量と測定	数学的な考え方	B1	20.4	68.6	25.2	6.0	3.2	65.4	21.7
17	4	1	球の意味	図形	知識・理解	A	37.4	76.3	48.4	21.3	4.3	72.0	20.1
18	4	2①	平行四辺形のかき方	図形	技能	A	73.4	94.9	85.6	63.0	26.0	68.9	10.2
19	4	2②	平行四辺形のかき方の説明	図形	数学的な考え方	B1	41.4	83.3	54.2	23.4	3.8	79.5	23.2
20	5	1①	資料の読み取り	数量関係	技能	A	88.8	99.5	97.6	86.1	35.4	64.1	4.4
21	5	1②	資料の活用	数量関係	数学的な考え方	B2	58.7	93.5	74.3	42.1	6.4	87.1	17.4
22	5	1②	資料の活用	数量関係	数学的な考え方	B2	36.0	83.9	50.8	13.7	0.5	83.4	18.0
23	5	1③	資料の活用	数量関係	数学的な考え方	B2	63.0	90.3	76.3	50.5	12.4	77.9	13.5
24	5	1③	資料の活用	数量関係	数学的な考え方	B2	26.8	71.6	37.8	8.0	0.4	71.2	19.9
25	5	2①	式の読み方	数量関係	数学的な考え方	B1	48.7	89.5	67.8	25.4	3.1	86.4	28.6
26	5	2②	式を図に表す	数量関係	数学的な考え方	B2	42.9	82.6	57.3	23.6	4.7	77.9	32.6
27	6	1	実生活の場面における活用	数量関係	数学的な考え方	B2	15.1	57.3	18.7	3.0	0.4	56.9	20.7
28	6	2	実生活の場面における活用	図形	数学的な考え方	B1	46.1	87.6	57.3	30.0	8.8	78.8	18.2
29	7	1	実生活の場面における活用	数量関係	技能	B1	51.5	91.6	66.2	33.0	6.9	84.7	22.1
30	7	2	実生活の場面における活用	数量関係	数学的な考え方	B2	12.6	43.6	15.4	3.7	1.4	42.2	27.3
31	7	3	実生活の場面における活用	数量関係	数学的な考え方	B2	2.8	16.3	2.4	0.3	0.0	16.3	45.3

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- | | |
|---------|---|
| 技 能 | <ul style="list-style-type: none"> 事象を数理的に処理し、言葉や式、グラフ、図形、数学的な用語・記号などを用いて表現することができるかどうかをみる問題。 (例) ■ 小数の加法・減法の計算をする。 ■ 平行四辺形の作図をする。 |
| 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などに関する基礎的・基本的な内容が定着しているかどうかをみる問題。 (例) ■ 四捨五入による概数の表し方を示す。 ■ 数直線上にある小数や分数の数値を表記する。 |
| 数学的な考え方 | <ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的にとらえ、見通しをもって筋道を立てて考え、問題を解決することができるかどうかをみる問題。 (例) ■ 平行四辺形のかき方を説明する。 ■ 図をもとに立式する。 |

■ 課題等

数と計算

- ◇ 小数の加法の計算(大問1小問1)、小数の減法の計算(大問1小問2)の設問別通過率はそれぞれ96.3%、91.0%であり、領域の目標値73.5%をかなり上回っている。
- ◆ $\bigcirc \times \triangle - \square \times \triangle = (\bigcirc - \square) \times \triangle$ のきまりについて、課題がある。(大問2小問2)
- ◆ 分数の大小関係、分数の意味の理解について課題があり、中学校でも同様の傾向が見られる。(大問2小問4、大問3小問2②)
- ◆ 四捨五入された概数について、そのもととなる数値の範囲の理解に課題がある。(大問2小問5)

数量関係

- ◇ 資料の読み取りに関する問題(大問5小問1①)の設問別通過率は88.8%であり、領域の目標値68.8%をかなり上回っている。
- ◆ 資料の活用について、表とグラフから読み取った情報を、言葉や式を使って説明することに課題がある。(大問5小問1②)
- ◆ 数量の関係を読み取り、式と図を関連付けて考えることに課題がある。(大問5小問2①、②)
- ◆ 実生活の場面において、与えられた情報を整理し、それを基に判断し、問題を解決することに課題がある。(大問7)

量と測定

- ◇ 分度器を使った角の大きさの測定(大問3小問1)における設問別通過率は77.1%であり、領域の目標値73.8%を上回っている。
- ◆ 面積の値から、適当な長方形の縦・横のおよその長さを考え、身の回りのものと結び付ける実感をともなった理解に課題がある。(大問3小問3①)
- ◆ 面積を正方形の個数として表すことに課題がある。(大問3小問3③)

図 形

- ◆ 球の性質や特徴の理解について課題がある。(大問4小問1)
- ◆ 平行四辺形をかく技能の定着は図られているが、そのかき方について、自分の言葉で説明することに課題がある。(大問4小問2②)
- ◆ 実生活の場面において、情報をもとに作図し、判断することに課題がある。(大問6小問2)

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

数と計算

- 計算のきまりや数の大きさ等についての数理的な処理のよさを実感させる学習の充実
 - ・ 計算のきまりについての理解を深め、技能の習熟を図るとともに、工夫して計算できることのよさを実感させるように指導することが必要である。
 - ・ 分数の大きさについては、具体物や線分図を関連付け、実感を伴った理解となるように指導するとともに、各小・中学校の実態を相互に把握し、学び直しの機会を実態に応じて設ける等、指導方法について共通理解を図ることが重要である。
 - ・ 四捨五入して表された概数について、そのような概数になるもとの数の中で一番大きな数や小さな数を考えたり、概数に表したもとの数の範囲を数直線上に表したりする活動を取り入れるとともに、目的に応じて概数を用いることの有用性に気付かせることが大切である。

数量関係

- 数量関係について言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて考え、説明させる学習の充実
 - ・ 表やグラフを読み取る活動を取り入れ、特徴や傾向を発表し合う学習場面を設定し、言葉や式を用いて説明できるようにすることが重要である。
 - ・ 数量の関係を読み取り、式や図にかくことを通して、考えを整理させ、必要に応じて修正するように指導することが大切である。
 - ・ 身近な事象を授業で取り上げ、その中から必要な情報を取り出し整理し、それを用いて課題を解決する学習場面を設定することが必要である。

量と測定

- 調べる活動等を通し、量の大きさの感覚を豊かにするとともに、単位の大きさや面積についての実感的な理解を深める学習の充実
 - ・ 教科書やノート、机、新聞紙、黒板、教室の床、運動場など、身の回りにある様々な具体物の大きさを調べたり、確かめたりする活動を積極的に取り入れ、体験的な活動を通して、基本的な量の大きさについての感覚を豊かにすることが重要である。
 - ・ 同じ大きさの正方形を敷き詰めて考えさせる活動を通して、正方形の個数から面積を表し、面積の意味を理解させる学習を充実させることが必要である。

図形

- 図形に関する基本的事項の確実な定着と、身の回りの事象から情報を読み取り具体物に着目して考え、既習の知識・技能を活用する学習の充実
 - ・ 図形に関する用語やその意味、図形のかき方の説明等について指導を工夫し、基本的事項の確実な定着を図ることが重要である。
 - ・ 身の回りの具体的な事象について、距離や位置関係などに着目して観察したり、実際に定規やコンパス等の道具を操作して考えたりする活動を取り入れ、既習の知識・技能を活用し、考える力や表現する力を育成することが必要である。

4 小学校5年:理 科

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

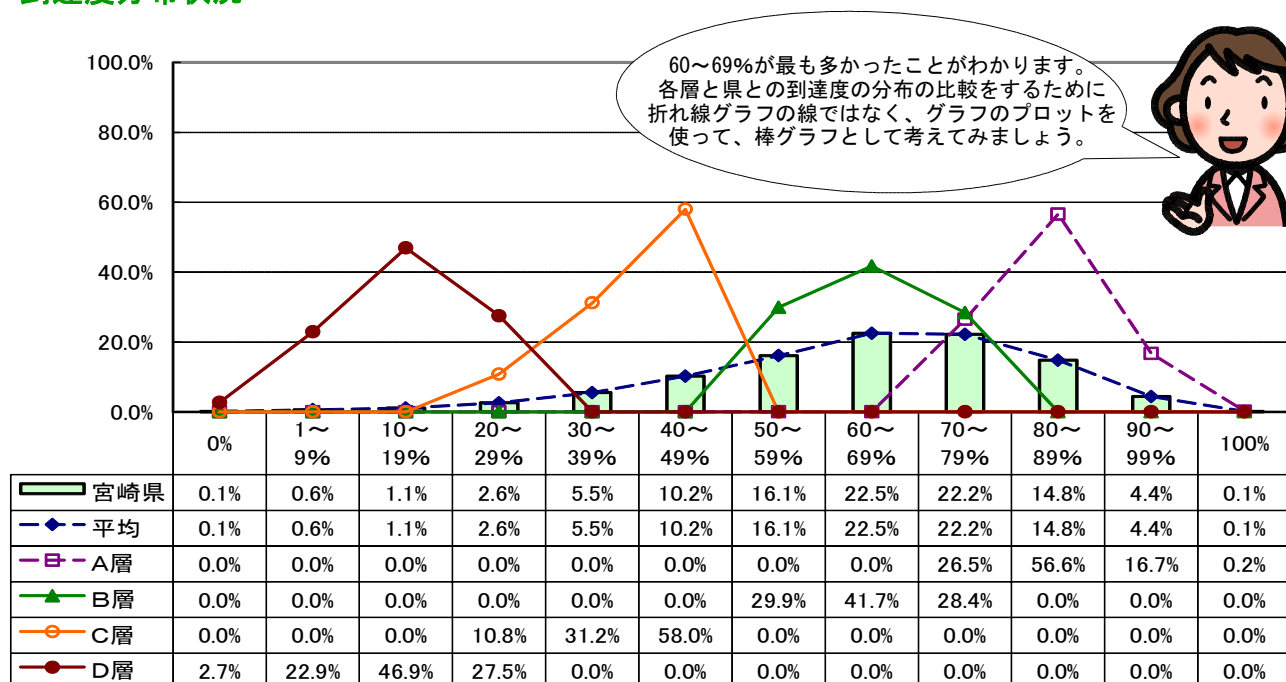
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等				
			A層	B層	C層	D層	
平均到達度	観点	教科全体	63.8	83.3	64.1	40.6	15.5
		観察・実験の技能	61.0	72.9	61.7	46.3	22.8
		知識・理解	65.2	82.7	65.2	45.6	19.8
		思考・表現	63.0	86.2	63.5	34.3	9.5
	領域	生命・地球(生命)	62.4	79.8	62.0	43.3	22.5
		生命・地球(地球)	65.5	82.4	66.8	43.4	14.6
		物質・エネルギー(粒子)	66.4	90.6	66.7	36.8	15.0
		物質・エネルギー(エネルギー)	62.2	82.9	62.2	38.5	11.9
	分類	基礎的・基本的な内容	72.6	85.8	73.8	55.6	25.3
		課題を解決する力	60.9	84.3	61.5	31.8	8.5
		活用する力	52.3	76.0	50.1	29.6	11.1
	達成率	観点	教科全体	33.3	100.0	13.4	0.0
観察・実験の技能			15.9	28.6	13.8	5.6	1.1
知識・理解			16.8	53.5	5.3	0.0	0.0
思考・表現			46.2	98.0	38.1	0.1	0.0
領域		生命・地球(生命)	25.1	59.6	16.9	2.1	0.0
		生命・地球(地球)	48.9	88.4	46.4	4.5	0.0
		物質・エネルギー(粒子)	50.7	92.6	47.3	5.8	0.0
		物質・エネルギー(エネルギー)	40.8	90.1	31.6	1.2	0.0
分類		基礎的・基本的な内容	38.0	80.5	30.9	1.6	0.0
		課題を解決する力	34.0	88.3	20.2	0.1	0.0
		活用する力	40.4	83.0	33.1	5.1	0.0

目標値	観点	教科全体	73.5
		観察・実験の技能	75.0
		知識・理解	78.9
		思考・表現	67.9
	領域	生命・地球(生命)	75.0
		生命・地球(地球)	74.4
		物質・エネルギー(粒子)	73.0
		物質・エネルギー(エネルギー)	72.3
	分類	基礎的・基本的な内容	79.6
		課題を解決する力	72.3
		活用する力	64.2



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



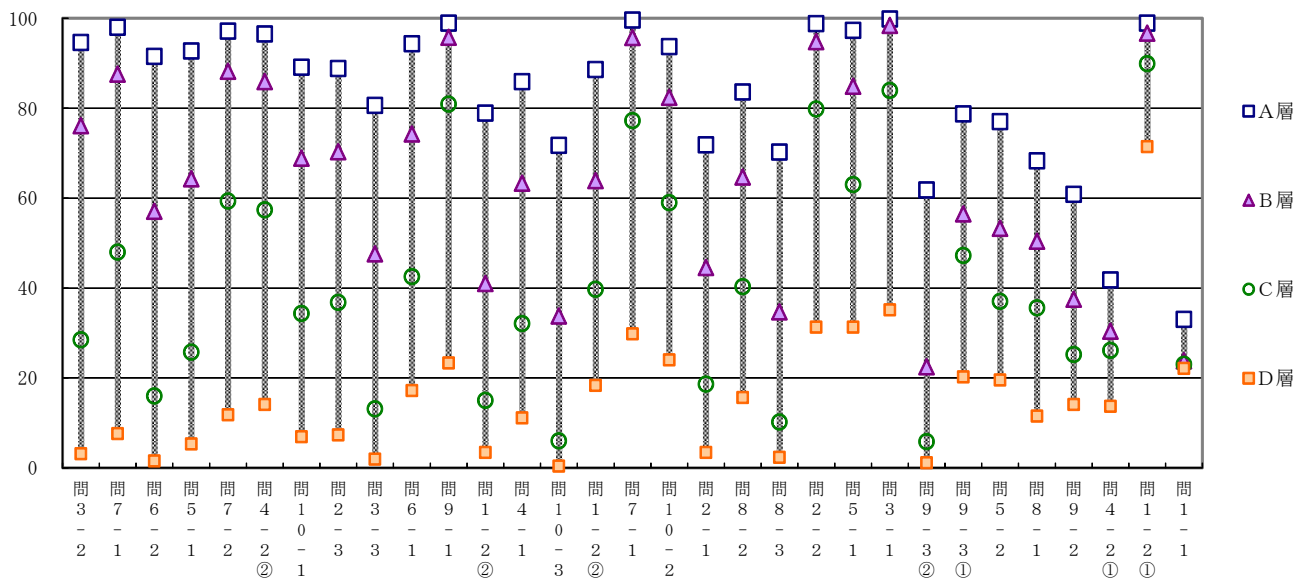
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数值は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層～D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	虫めがねの使い方	生命・地球(生命)	観察・実験の技能	A	26.0	33.0	23.7	23.0	22.1	10.9	0.4
2	1	2	チョウの育ち方	生命・地球(生命)	知識・理解	A	95.4	98.9	96.6	89.9	71.4	27.5	0.1
3	1	2	昆虫の育ち方	生命・地球(生命)	知識・理解	B1	45.4	78.9	40.9	15.0	3.4	75.5	6.2
4	1	2	昆虫の育ち方	生命・地球(生命)	知識・理解	B1	65.0	88.6	63.8	39.7	18.3	70.3	2.9
5	2	1	筋肉の動き	生命・地球(生命)	知識・理解	A	46.1	71.8	44.5	18.6	3.4	68.4	1.1
6	2	2	関節のはたらき	生命・地球(生命)	知識・理解	A	91.6	98.8	94.7	79.8	31.3	67.5	0.6
7	2	3	体が動くしくみ	生命・地球(生命)	思考・表現	B1	67.6	88.8	70.2	36.8	7.3	81.5	7.4
8	3	1	密閉容器の水の蒸発	生命・地球(地球)	観察・実験の技能	A	94.6	99.8	98.3	83.9	35.1	64.7	1.0
9	3	2	水の蒸発	生命・地球(地球)	思考・表現	B1	70.7	94.6	76.0	28.5	3.1	91.5	8.6
10	3	3	水の蒸発	生命・地球(地球)	思考・表現	B1	49.0	80.6	47.5	13.1	1.9	78.7	9.2
11	4	1	星の観察の仕方	生命・地球(地球)	観察・実験の技能	A	62.4	85.9	63.2	32.1	11.1	74.8	11.1
12	4	2	星の動き方	生命・地球(地球)	知識・理解	B1	32.2	41.8	30.3	26.1	13.7	28.1	3.1
13	4	2	星の動き方	生命・地球(地球)	思考・表現	B1	81.9	96.5	85.8	57.4	14.1	82.4	2.9
14	5	1	空気のあたたまり方	物質・エネルギー(粒子)	知識・理解	A	82.9	97.3	84.8	63.0	31.3	66.0	0.9
15	5	1	空気のあたたまり方	物質・エネルギー(粒子)	思考・表現	B1	63.5	92.7	64.2	25.7	5.3	87.4	4.8
16	5	2	空気のあたたまり方	物質・エネルギー(粒子)	思考・表現	B1	55.8	77.0	53.2	37.0	19.5	57.5	1.4
17	6	1	閉じ込めた空気の性質	物質・エネルギー(粒子)	知識・理解	A	72.5	94.3	74.2	42.5	17.2	77.1	0.7
18	6	2	空気と水の性質の違い	物質・エネルギー(粒子)	思考・表現	B1	57.5	91.5	57.0	16.0	1.5	90.0	9.9
19	7	1	光の反射	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	A	91.8	99.6	95.6	77.2	29.8	69.8	1.4
20	7	1	光の反射	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	B1	81.4	98.0	87.5	48.0	7.6	90.4	4.3
21	7	2	光の反射	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	B1	83.6	97.1	88.1	59.3	11.8	85.3	4.0
22	8	1	磁石の性質	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	A	51.5	68.3	50.3	35.6	11.5	56.8	4.0
23	8	2	磁石の性質	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	A	64.1	83.6	64.6	40.3	15.6	68.0	2.2
24	8	3	磁石になるもの	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	B1	38.8	70.2	34.6	10.2	2.3	67.9	11.9
25	9	1	日なたの地面の温度	生命・地球(地球)	知識・理解	A	92.2	98.9	95.7	80.9	23.3	75.6	2.4
26	9	2	かげの動きと太陽	生命・地球(地球)	知識・理解	B2	40.8	60.8	37.4	25.2	14.1	46.7	1.7
27	9	3	空気の温度と体積	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	B2	59.7	78.7	56.4	47.2	20.2	58.5	3.3
28	9	3	空気の温度と体積	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	B2	29.3	61.8	22.4	5.8	1.1	60.7	9.6
29	10	1	光電池のはたらき	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	B2	66.5	89.1	68.8	34.3	6.9	82.2	6.2
30	10	2	光電池と日光との関係	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	B2	79.8	93.7	82.3	59.0	24.0	69.7	2.8
31	10	3	光電池の利点	物質・エネルギー(エネルギー)	思考・表現	B2	38.0	71.7	33.7	6.0	0.4	71.3	17.6

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別：各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解** — 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかをみる問題。
 (例) ■昆虫の成長には、一定の順序があることを理解する。
 ■磁石に引き付けられる物には、磁石に付けると磁石になることを理解する。
- 観察・実験の技能** — 自然の事物・現象についての課題を追究するための観察・実験に必要な技能が身に付いているかどうかをみる問題。
 (例) ■水の蒸発を調べるときに、水を入れた容器に覆いをする意味を理解する。
 ■星や星座を探すときに使う道具の名称を理解する。
- 思考・表現** — 自然の事物・現象の共通性や相互のかかわり、性質や変化、規則性についての見方や考え方が身に付いているかどうかをみる問題。
 (例) ■空気の温度による体積の変化を日常で起こる事象と結びつけて考察する。
 ■「関節」という名称を使用して手の指が動く理由を考察する。

■ 課題等

生命・地球（生命）

- ◇ 昆虫の育ち方に関する問題（大問1小問2）は、設問別通過率95.4%で、領域の目標値75.0%をかなり上回っている。
- ◆ 人の体のつくりと運動を考える問題（大問2小問1）は、設問別通過率46.1%で領域の目標値をかなり下回っている。なお、平成22年度と類似する問題の設問別通過率は、53.2%であった。

生命・地球（地球）

- ◇ 密閉容器の水の蒸発の観察・実験の技能をみる問題（大問3小問1）は、設問別通過率94.6%で、領域の目標値74.4%をかなり上回っている。
- ◆ 星の集まりを観察し、方位を考えさせる問題（大問4小問2）は、設問別通過率32.2%で、領域の目標値74.4%をかなり下回っている。

物質・エネルギー（粒子）

- ◇ 部屋の空気は熱した部分が上方に移動して全体が温まっていくことをストーブを使って調べる問題（大問5小問1）は、設問別通過率82.9%で、領域の目標値73.0%をかなり上回っている。
- ◆ 空気の温まり方を活用してエアコンの風向を選択する問題（大問5小問2）は、設問別通過率55.8%で、観点（思考・表現）の目標値67.9%をかなり下回っている。
- ◆ 空気と水の性質の違いを調べた実験結果から理由を説明する問題（大問6小問2）は、設問別通過率57.5%で、分類（B1）の目標値72.3%をかなり下回っている。また、無解答率も9.9%と高い。基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力に課題がある。
- ◆ 空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを体験と結びつけて考える問題（大問9小問3）は、設問別通過率29.3%で、分類（B2）の目標値64.2%をかなり下回っている。既習事項と与えられた情報を関連付けて考えることに課題がある。

物質・エネルギー（エネルギー）

- ◇ 鏡を使い、物に光が当たったときの明るさを比較する問題（大問7小問1）は、設問別通過率91.8%で、領域の目標値72.3%をかなり上回っている。
- ◆ 実験結果から、磁石に引き付けられる物には、磁石に付けると磁石になる物があることを説明する問題（大問8小問3）は、設問別通過率38.8%で、観点（思考・表現）の目標値67.9%をかなり下回っている。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

生命・地球（生命）

○ 実際に触れながら比較させる活動の重視

- ・ 動物の体のつくりや体の動き、運動を観察し、実際に触れながら比較したり、映像や模型などを活用したりしながら、人の体のつくりと運動とのかかわりについてとらえることができるようにすることが大切である。
- ・ 動物の活動や植物の成長について、観察したことを図や表に整理するとともに、昆虫の種類によっては、育ち方の過程が異なるものがあるので、育ち方の過程を比較する力を身に付けさせる必要がある。

生命・地球（地球）

○ 実際に観察する機会をもち、定点観察の方法を身に付けさせる活動の重視

- ・ 天体の美しさを感じとる体験を充実させるためには、実際に星を観察する機会を多くもつようにし、月や星に対する豊かな心情を育てることが大切である。
- ・ 星座の観察を通して、方位磁針による方位の確認や決まった時間の間隔で観察するなどの定点観察の方法を身に付けさせることが重要である。また、観察記録を読み取り、星座の位置が時間の経過に伴って変わることをとらえさせる必要がある。さらに、観察したものを基に、映像や模型、デジタルコンテンツなどを活用して星座の動きについて考えさせる活動も取り入れることが大切である。

○ 身の回りで見られる現象を考察させる活動の重視

- ・ 身の回りで見られる蒸発の現象を取り上げ、自然界では水面や地面などから水が蒸発して、水蒸気として存在していることを実感させながら考察させることが必要である。

エネルギー（粒子）

○ 日常生活と関連付けて考察し表現させる活動の重視

- ・ 空気が温まると上昇することを実験によって導いた後、空気は熱した部分が上方に移動して全体が温まっていくことを基に、エアコンの暖房の風向はどの方向に向ければ有効に働くかを考えさせるなど、学習内容と日常生活を関連付けて考察させることが必要である。

○ 自然の事物・現象を科学的に説明させる活動の重視

- ・ 空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを、体験と結び付けて考察させ、適切に説明させることが大切である。

物質・エネルギー（エネルギー）

○ 実験の結果を整理、考察し表現させる活動の重視

- ・ 磁石に引き付けられる物には、磁石に付けると磁石になる物があることを、実験結果から考察させ、自分の言葉で表現させるようにすることが大切である。

○ ものづくりなどの科学的な体験や実社会・実生活と関連させる活動の重視

- ・ 光電池は電気を起こす働きがあること、光電池に当てる光の強さと回路を流れる電流の強さとの関係を理解させ、光電池の働きを活用した自動販売機や宇宙で使われている人工衛星の利用等について、実社会や実生活と関連付けて考えさせることが必要である。

II-2 中学校 各教科の分析

1 中学校2年:国 語

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

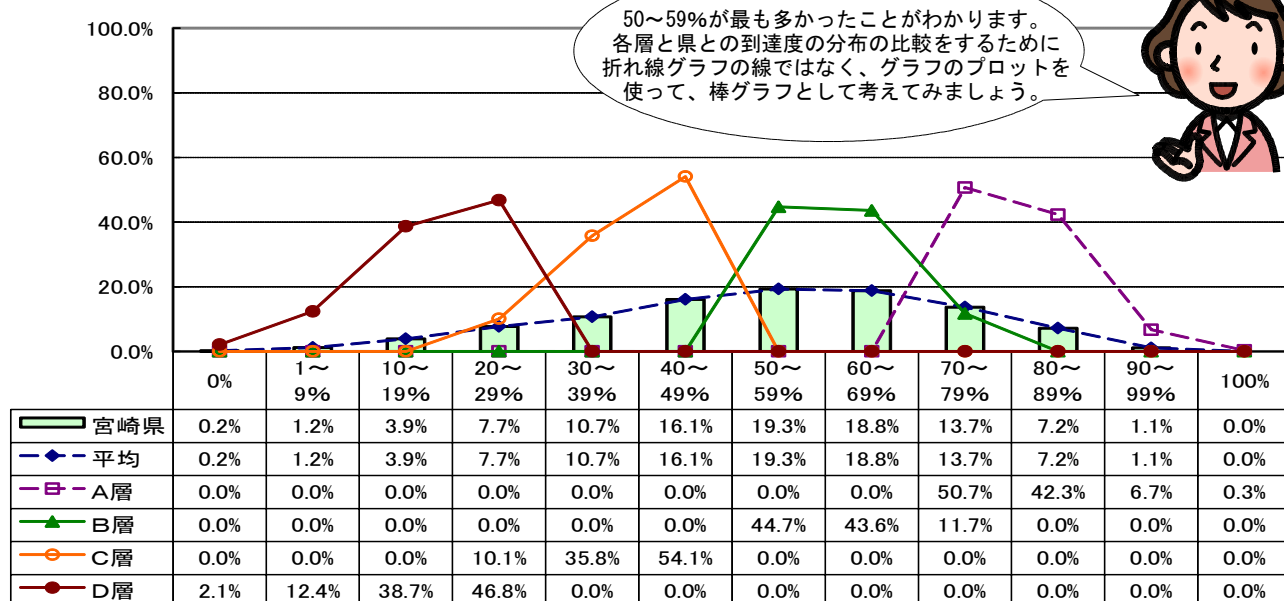
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等						
			A層	B層	C層	D層			
平均到達度	観点	教科全体	54.1	82.1	61.7	39.6	16.7		
		読む能力	53.8	80.3	61.3	40.0	17.9		
		書く能力	40.0	73.6	46.9	22.1	6.3		
		言語についての知識・理解・技能	57.3	85.5	65.1	43.0	17.9		
	領域	読むこと	53.8	80.3	61.3	40.0	17.9		
		書くこと	40.0	73.6	46.9	22.1	6.3		
		言語事項	57.3	85.5	65.1	43.0	17.9		
	分類	基礎的・基本的な内容	60.0	86.2	67.7	47.1	21.3		
		課題を解決する力	50.5	78.7	57.7	35.9	15.2		
		活用する力	45.2	78.7	54.0	26.3	6.5		
		達成率	観点	教科全体	34.2	100.0	40.0	0.0	0.0
				読む能力	37.9	96.1	47.3	4.0	0.0
書く能力	38.0			83.1	45.5	13.8	1.4		
言語についての知識・理解・技能	35.2			96.9	41.7	2.3	0.0		
領域	読むこと		37.9	96.1	47.3	4.0	0.0		
	書くこと		38.0	83.1	45.5	13.8	1.4		
	言語事項		35.2	96.9	41.7	2.3	0.0		
分類	基礎的・基本的な内容		43.7	98.4	58.0	6.5	0.0		
	課題を解決する力		31.4	93.9	34.9	1.2	0.0		
	活用する力		32.0	80.0	37.8	6.9	0.4		

目標値	観点	教科全体	64.8
		読む能力	66.7
		書く能力	56.7
		言語についての知識・理解・技能	65.0
	領域	読むこと	66.7
		書くこと	56.7
		言語事項	65.0
	分類	基礎的・基本的な内容	66.9
		課題を解決する力	63.3
		活用する力	62.5



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



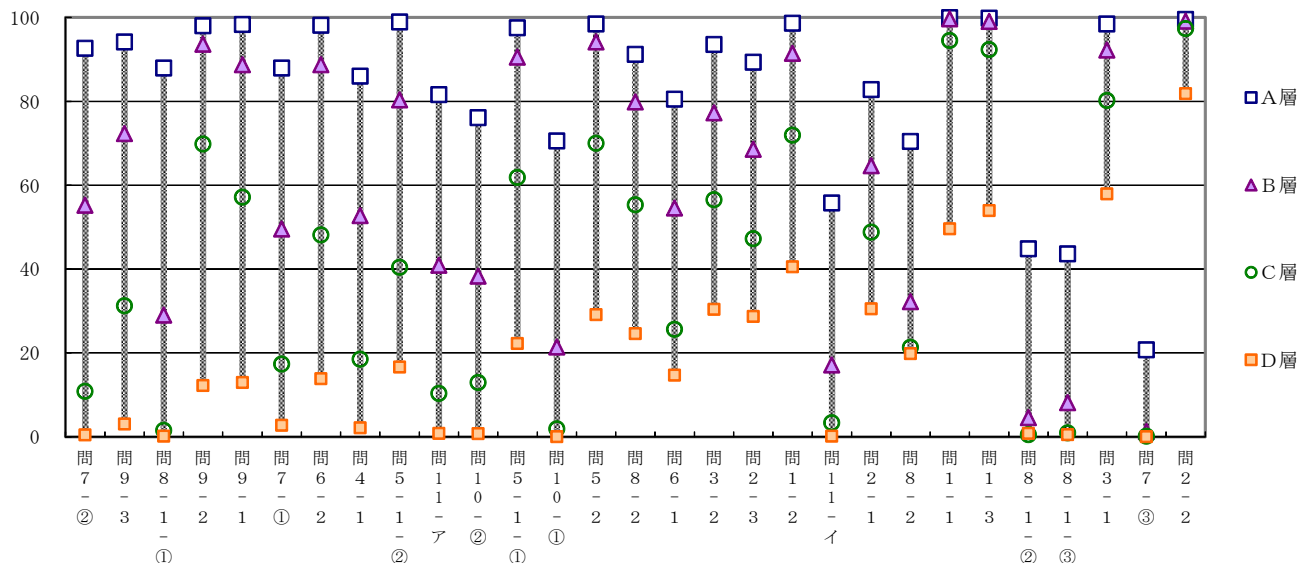
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	文脈の把握・語句の理解	読むこと	読む能力	A	86.5	97.8	93.4	81.9	50.9	46.9	0.2
2	1	2	表現の特徴・効果	読むこと	読む能力	B1	33.1	62.6	33.0	21.3	18.7	43.9	0.4
3	1	3	内容の把握	読むこと	読む能力	B1	54.7	89.4	65.8	34.3	8.3	81.1	3.2
4	1	4	内容の把握	読むこと	読む能力	B1	83.1	97.8	91.6	76.4	41.9	55.9	0.6
5	1	5	内容の把握	読むこと	読む能力	B1	66.1	93.7	80.6	48.0	10.7	83.0	11.0
6	1	5	内容の把握・要約	読むこと	読む能力	B1	31.3	58.4	36.3	18.1	3.9	54.5	15.2
7	2	1	文脈の把握・語句の理解	読むこと	読む能力	A	63.1	88.6	69.9	49.7	30.7	57.9	0.4
8	2	2	内容の把握・要約	読むこと	読む能力	B1	65.3	88.3	76.0	52.8	17.7	70.6	6.3
9	2	3	文章の構成・組み立ての把握	読むこと	読む能力	B1	42.7	50.7	46.5	39.2	23.3	27.4	0.8
10	2	4	内容の把握	読むこと	読む能力	B1	27.4	69.5	31.0	7.2	0.5	69.0	27.0
11	2	4	内容の把握・要約	読むこと	読む能力	B1	31.8	72.6	36.5	12.2	1.4	71.2	24.0
12	2	5	自分の考えの記述	書くこと	書く能力	B2	33.8	71.1	39.0	15.1	3.3	67.8	30.1
13	3	1	文の照応	言語事項	言語についての知識・理解・技能	B1	44.3	84.3	54.2	21.0	2.8	81.5	16.3
14	3	2	資料の読み取り	読むこと	読む能力	B2	60.8	94.1	75.5	38.7	7.0	87.1	12.8
15	3	3	資料の情報をもとにした自分の考えの記述	書くこと	書く能力	B2	35.7	63.6	40.0	22.6	9.3	54.3	7.1
16	3	4	資料の情報をもとにした自分の考えの記述	書くこと	書く能力	B2	50.4	85.9	61.6	28.7	6.4	79.5	13.4
17	4	1①	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	69.6	98.0	82.6	52.5	16.1	81.9	5.9
18	4	1②	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	64.3	90.0	74.0	49.9	22.1	67.9	4.7
19	4	1③	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	83.8	98.1	92.2	77.1	43.0	55.1	2.3
20	4	1④	漢字の読み	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	56.8	86.3	65.4	42.4	12.6	73.7	4.3
21	4	2①	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	68.2	93.8	79.1	54.7	18.1	75.7	11.6
22	4	2②	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	34.4	58.4	36.9	24.8	11.5	46.9	26.1
23	4	2③	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	82.3	97.8	91.8	76.7	32.3	65.5	11.2
24	4	2④	漢字の書き	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	36.5	73.3	41.9	18.4	4.9	68.4	27.5
25	4	3	文の組み立て	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	31.2	64.3	32.3	18.2	8.7	55.6	2.7
26	4	4①	書写・辞典の引き方	言語事項	言語についての知識・理解・技能	B1	44.3	82.5	51.7	24.4	6.5	76.0	19.5
27	4	4②	書写・辞典の引き方	言語事項	言語についての知識・理解・技能	B1	81.9	94.8	88.7	76.4	47.3	47.5	2.7
28	4	5①	歴史的仮名遣い	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	63.0	93.3	73.0	45.7	19.5	73.8	11.7
29	4	5②	歴史的仮名遣い	言語事項	言語についての知識・理解・技能	A	41.1	81.5	47.7	20.4	5.8	75.7	4.1

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

読む能力	— 「読むこと」の領域において、基礎的な知識や技能が身に付いているかどうか、またそれらを活用できるかどうかをみる問題。 (例) ■文章の内容を的確に読み取り、書いてまとめる。 ■文章の構成や展開、登場人物の心情や要旨をとらえる。 ■文章と図表等との関連を考えながら、必要な情報を読み取る。
書く能力	— 「書くこと」の領域において、基礎的な知識や技能が身に付いているかどうか、またそれらを活用できるかどうかをみる問題。 (例) ■資料の情報を生かし、伝えたい事柄を条件に従って書く。
言語についての知識・理解・技能	— 言語事項に関する基礎的な知識や技能が身に付いているかどうかをみる問題。 (例) ■漢字を正しく読み、正しく書く。 ■漢和辞典を正しく使い、言葉を調べる。 ■歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。

■ 課題等

読むこと

- ◇ 本文の文脈をとらえ、適切な擬態語の組み合わせを選択肢から選ぶ問題（大問1小問1）や、本文中の言葉を基に登場人物の心情をとらえ、選択肢から選ぶ問題（大問1小問4）は、それぞれの設問別通過率が86.5%、83.1%で、領域の目標値66.7%をかなり上回っている。
- ◆ 読むことの平均到達度は53.8%で、領域の目標値66.7%をかなり下回っている。
- ◆ 文章の展開に即して表現の特徴と効果をとらえ、選択肢から選ぶ問題（大問1小問2）は設問別通過率が33.1%であり、領域の目標値をかなり下回っている。文学的な文章で、表現の特徴を分析的にとらえ、その工夫や効果について考える力に課題がある。
- ◆ 文章の構成や展開に即して筆者の表現の意図をとらえ、選択肢から選ぶ問題（大問2小問3）は、設問別通過率が42.7%であり、領域の目標値をかなり下回っている。説明的な文章で、文章全体の構成や論理の展開を大きくとらえる力に課題がある。
- ◆ 文章の展開に即して、登場人物の心情を条件に従ってまとめる問題（大問1小問5のii）、論の展開の中心となる部分とそれを支える例示との関係をとらえ、条件に従って要約する問題（大問2小問4のi、ii）は、それぞれの設問別通過率が31.3%、27.4%、31.8%であり、領域の目標値をかなり下回っている。読み取ったことを条件に従ってまとめる力に課題があり、小学校でも同様の傾向が見られる。

書くこと

- ◆ 書くことの平均到達度は40.0%で、領域の目標値56.7%をかなり下回っている。
- ◆ 文章の内容を参考にして、自分の考えを条件に従ってまとめて書く問題は、設問別通過率が33.8%（大問2小問5）、複数の資料の情報を基に、伝えるべき内容を条件に従ってまとめて書く問題（大問3小問3、4）は、それぞれの設問別通過率が35.7%、50.4%であり、領域の目標値56.7%を下回っている。複数の資料の中から必要な情報を選び出し、自分の考えを条件に従って記述する力に課題がある。

言語事項

- ◇ 漢字（大問4小問1・2）について、「小包」の読み、「束」の書き取りの設問別通過率が、それぞれ83.8%、82.3%であり、領域の目標値65.0%をかなり上回っている。

- ◇ 漢和辞典の使い方（大問4小問4②）について、行書で書かれた「情」の総画数を指摘する問題の設問別通過率は81.9%で、領域の目標値をかなり上回っている。
- ◆ 言語事項の平均到達度は57.3%で、領域の目標値をかなり下回っている。
- ◆ 漢字（大問4小問2①）について、「収まる」「検討する」の書き取りの設問別通過率が、それぞれ34.4%、36.5%であり、領域の目標値をかなり下回っている。同訓異字の漢字の書き取りや、日常生活で使い慣れていない漢字の書き取りに課題がある。
- ◆ 漢和辞典の使い方（大問4小問4）について、行書で書かれた「情」の部首名を書く問題の設問別通過率が44.3%であり、領域の目標値をかなり下回っている。言語事項の基本的な知識の習得に課題がある。
- ◆ 文の組み立て（大問4小問3）について、文節と文節の関係を指摘する問題の設問別通過率は31.2%であり、領域の目標値をかなり下回っている。基本的な言葉のきまりの理解について課題がある。
- ◆ 古典（大問4小問5）の仮名遣いについて、歴史的仮名遣い「うつくしうて」を、現代仮名遣いに直して書く問題の設問別通過率が41.1%であり、領域の目標値をかなり下回っている。古典の基礎的な知識や技能の習得に課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

読むこと

- 文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えをまとめる言語活動の充実
 - ・ 文学的な文章を教材とする場合、文章の特徴や表現の仕方に着目させ、登場人物の心情や情景などを一層深く理解することができるようにすることが重要である。その際、比喩や擬態語などに着目させ、場面や事物のイメージを膨らませるよう指導することが大切である。
 - ・ 説明的な文章を教材とする場合、中心となる話題や重要な言葉が、文章全体の中でどのように位置付けられているのかをとらえさせるようにすることが重要である。その際、主張と根拠、問いと答え、繰り返し出てくる言葉などに注意しながら、内容を正確にとらえさせるよう指導することが大切である。
 - ・ 文学的な文章、説明的な文章のどちらを教材とする場合でも、文章の構成や展開、表現の特徴を的確にとらえ、条件に従って自分の考えを記述してまとめることができるよう、小中一貫して指導を行う必要がある。

書くこと

- 複数の文章や資料から伝えたい内容をまとめ、条件に従って書く言語活動の充実
 - ・ 伝えるべき内容が正しく伝わるよう、相手や目的に応じて内容を整理したり、表現を工夫したりする場面を授業の中で設定し、指導することが重要である。

言語事項

- 基礎的・基本的な言語事項の定着を図り、自分の言語生活に生かす指導の重視
 - ・ 漢字については、正確に読み書きができるだけでなく、構成要素である「へん」や「つくり」などについても調べる機会を設定し、文脈に即して使えるよう指導することが大切である。
 - ・ ことばのきまりについては、授業の中で言葉の文法的な役割を調べさせる場面を設定し、知識として理解するだけでなく、日常生活で使えるよう指導することが重要である。
 - ・ 古典については、音読・朗読・暗誦することにより、基本的な文語のきまりを習得させるよう指導することが必要である。

2 中学校2年:社 会

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

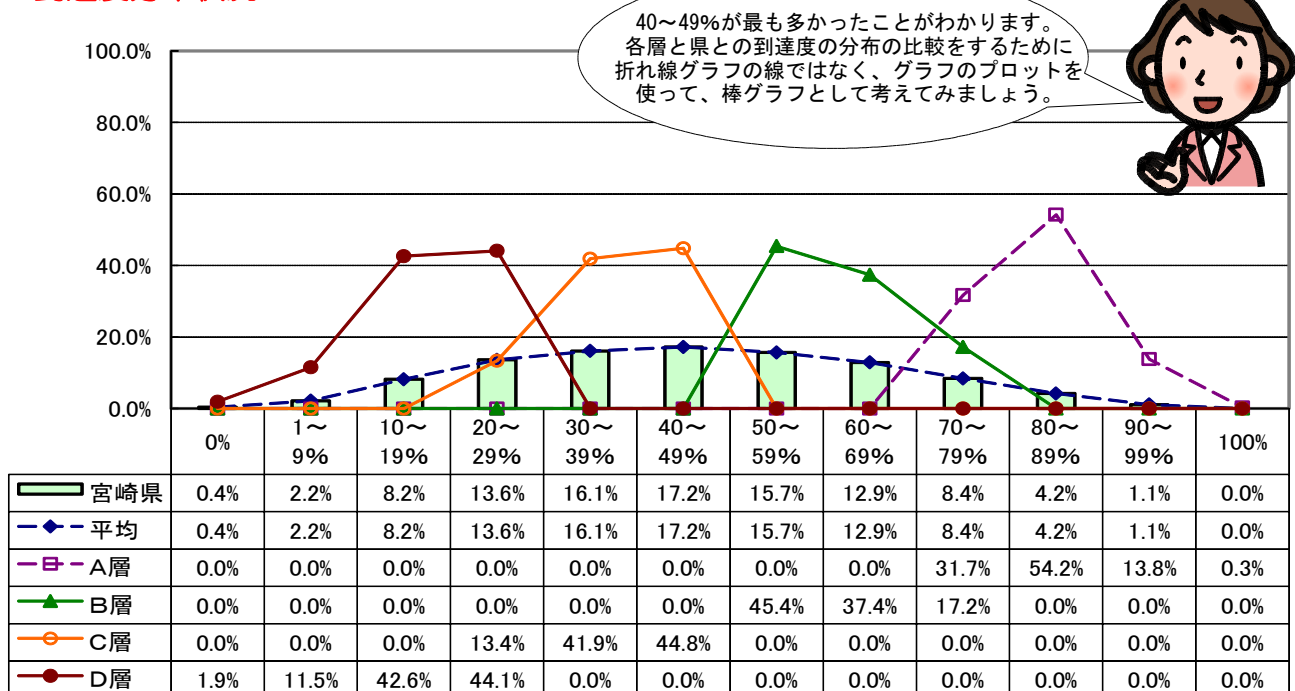
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等				
			A層	B層	C層	D層	
平均到達度	観点	教科全体	44.4	82.1	60.1	37.0	16.2
		知識・理解	45.7	82.1	61.1	37.7	19.4
		思考・判断	41.8	77.3	57.0	35.7	12.4
		資料活用	44.5	86.3	60.9	36.8	13.5
	領域	世界と日本の地域構成	50.5	91.6	72.3	40.7	14.5
		地域の規模に応じた調査	42.6	79.1	57.9	36.1	13.4
		古代までの日本	41.1	74.9	52.5	34.9	19.6
		中世の日本	40.1	83.4	54.3	31.3	14.9
	分類	世界から見た日本の姿	59.8	93.3	77.1	56.7	21.2
		基礎的・基本的な内容	45.5	81.2	60.8	37.8	19.2
		課題を解決する力	41.6	82.5	58.1	33.2	12.4
		活用する力	49.1	84.0	63.6	45.1	17.0
		達成率	教科全体	13.6	100.0	17.2	0.0
観点	知識・理解	15.7	93.0	24.3	0.4	0.0	
	思考・判断	19.4	83.8	32.8	4.2	0.1	
	資料活用	33.4	99.4	62.2	10.8	0.1	
	達成率	世界と日本の地域構成	18.6	86.7	32.8	1.7	0.0
領域	地域の規模に応じた調査	21.0	86.7	36.0	4.8	0.0	
	古代までの日本	13.0	82.0	18.5	0.7	0.0	
	中世の日本	22.2	86.5	37.3	6.6	0.8	
	世界から見た日本の姿	59.8	93.3	77.1	56.7	21.2	
分類	基礎的・基本的な内容	10.3	76.5	12.7	0.1	0.0	
	課題を解決する力	21.2	99.0	38.5	0.7	0.0	
	活用する力	35.9	87.7	54.1	25.7	3.1	

目標値	観点	教科全体	67.2
		知識・理解	72.0
		思考・判断	62.1
		資料活用	62.5
	領域	世界と日本の地域構成	75.6
		地域の規模に応じた調査	63.6
		古代までの日本	63.5
		中世の日本	66.3
	分類	世界から見た日本の姿	65.0
		基礎的・基本的な内容	72.1
		課題を解決する力	63.8
		活用する力	60.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



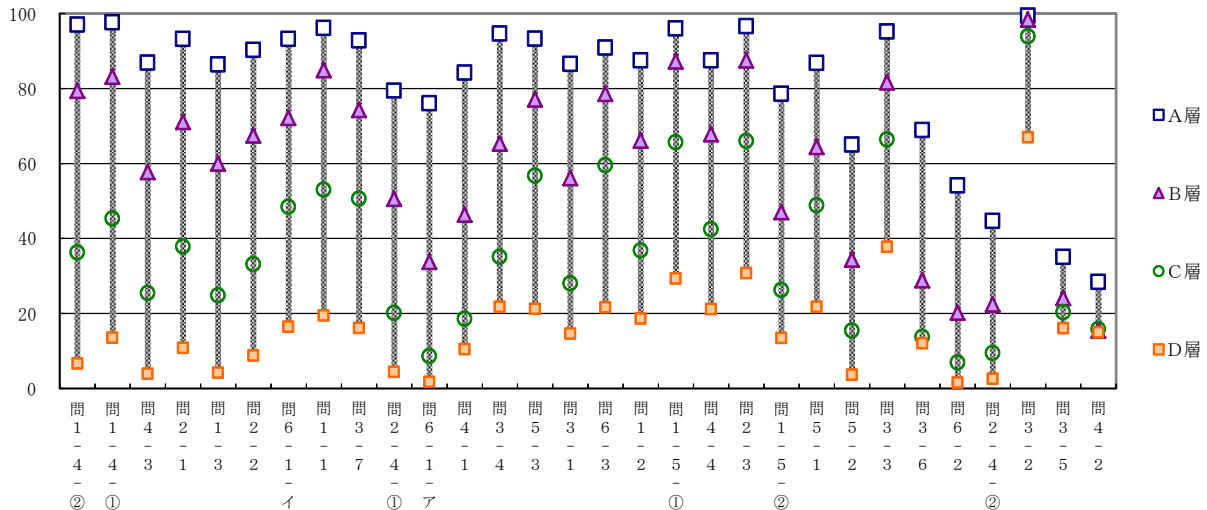
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数值は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (％)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	大陸の分布	世界と日本の地域構成	知識・理解	A	60.9	96.1	84.9	53.0	19.4	76.7	2.2
2	1	2	造山帯の分布	世界と日本の地域構成	知識・理解	A	47.3	87.5	66.1	36.8	18.6	68.9	1.4
3	1	3	本初子午線の位置	世界と日本の地域構成	知識・理解	A	37.7	86.4	59.9	24.8	4.2	82.2	1.5
4	1	4	世界の国々	世界と日本の地域構成	知識・理解	A	56.3	97.6	83.1	45.3	13.5	84.1	8.8
5	1	4	世界の国々	世界と日本の地域構成	思考・判断	B1	50.1	97.0	79.3	36.2	6.6	90.4	20.2
6	1	5	世界の国々	世界と日本の地域構成	思考・判断	B1	68.5	96.0	87.2	65.6	29.3	66.7	9.3
7	1	5	世界の国々	世界と日本の地域構成	資料活用	B1	35.0	78.6	47.0	26.2	13.4	65.2	3.4
8	2	1	8地方区分	世界と日本の地域構成	知識・理解	A	48.4	93.2	71.0	37.8	10.8	82.4	8.3
9	2	2	地形図の読み取り方	地域の規模に応じた調査	知識・理解	A	44.7	90.3	67.4	33.1	8.7	81.6	8.0
10	2	3	地形図の読み取り方	地域の規模に応じた調査	資料活用	B1	69.0	96.6	87.5	66.0	30.7	65.9	2.0
11	2	4	地形図等の読み取り方	地域の規模に応じた調査	資料活用	B1	32.2	79.4	50.5	20.1	4.4	75.0	16.1
12	2	4	地域的特色	地域の規模に応じた調査	思考・判断	B1	15.3	44.7	22.4	9.4	2.6	42.1	27.5
13	3	1	大化の改新	古代までの日本	知識・理解	A	39.6	86.5	56.1	28.0	14.6	71.9	0.6
14	3	2	聖徳太子の政治	古代までの日本	知識・理解	A	90.7	99.4	98.4	93.9	67.0	32.4	0.5
15	3	3	奈良時代の人々の暮らし	古代までの日本	知識・理解	A	68.4	95.2	81.6	66.4	37.7	57.5	0.6
16	3	4	蝦夷の抵抗	古代までの日本	知識・理解	B1	47.6	94.6	65.3	35.1	21.7	72.9	0.8
17	3	5	武士の成長と院政	古代までの日本	知識・理解	A	22.0	35.1	24.1	20.3	16.1	19.0	0.9
18	3	6	武家政権と幕府の支配	中世の日本	知識・理解	A	22.8	68.9	28.8	13.7	12.0	56.9	1.2
19	3	7	南北朝の動乱	中世の日本	資料活用	B1	55.4	92.8	74.2	50.6	16.1	76.7	19.1
20	4	1	武家政権と幕府の支配	中世の日本	知識・理解	A	31.6	84.2	46.3	18.5	10.4	73.8	1.4
21	4	2	浄土信仰	古代までの日本	知識・理解	A	16.5	28.4	15.4	15.8	15.0	13.4	1.2
22	4	3	摂関政治	古代までの日本	資料活用	B1	37.2	86.9	57.7	25.4	3.9	83.0	23.4
23	4	4	鎌倉文化	中世の日本	知識・理解	A	50.6	87.5	67.8	42.4	21.1	66.4	3.3
24	5	1	都道府県の調査	地域の規模に応じた調査	資料活用	B2	51.9	86.8	64.4	48.8	21.7	65.1	10.5
25	5	2	都道府県の調査	地域の規模に応じた調査	思考・判断	B2	23.5	65.0	34.3	15.4	3.6	61.4	23.4
26	5	3	身近な地域の調査	世界から見た日本の姿	思考・判断	B2	59.8	93.3	77.1	56.7	21.2	72.1	19.0
27	6	1	室町時代の農業の発達	中世の日本	資料活用	B1	21.1	76.0	33.7	8.6	1.7	74.3	10.6
28	6	1	室町時代の農業の発達	中世の日本	資料活用	B1	53.9	93.2	72.1	48.4	16.4	76.8	12.5
29	6	2	室町時代の産業の発達	中世の日本	思考・判断	B1	14.1	54.1	20.2	6.9	1.5	52.6	21.9
30	6	3	身近な地域の調査	地域の規模に応じた調査	思考・判断	B2	61.3	90.9	78.6	59.5	21.6	69.3	13.7

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解** — 地理的・歴史的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■大陸名や造山帯について理解する。
■聖徳太子の政治や武家政権の特徴について理解する。
- 資料活用** — 地理的・歴史的事象に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができるかどうかをみる問題。
(例) ■地形図を基に、地域の変化を読み取る。
■藤原氏に関する資料を基に、摂関政治を説明する。
- 思考・判断** — 複数の資料から関連や背景を読み取り、多面的・多角的に考察することができるかどうかをみる問題。
(例) ■標高を表した地図や断面図の資料を基に、駅の出入り口のつくりについて考察する。
■まとめ文と集配に関する資料を基に、運送手段の効率化について考察する。

■ 課題等

世界と日本の地域構成

- ◆ 造山帯の分布や本初子午線の位置に関する理解に課題がある。
- ◆ 熱帯に属する地域についての理解に課題がある。

地域の規模に応じた調査

- ◆ 2つの地形図から位置を読み取り、方角を判断することに課題がある。
- ◆ 壁をはう蔦の役割を問う問題（大問2小問4(2)）については、設問別通過率が15.3%であり、瀬戸内地方の気候の特徴と人々の生活の工夫を結びつけることに課題がある。
- ◆ 写真等の資料の比較を通して疑問をもち、自分の言葉で表現することに課題がある。
- ◆ 複数の関連する資料から読み取れる事実を基に、考えをまとめることに課題がある。

古代までの日本

- ◇ 十七条の憲法の資料を読み取り、その内容を選択する問題（大問3小問2）については、設問別通過率が90.7%であり、領域の目標値63.5%をかなり上回っている。
- ◇ 墾田永年私財法の制定後の荘園の広がりを選択する問題（大問3小問3）については、設問別通過率が68.4%であり、領域の目標値63.5%をやや上回っている。
- ◆ 院政が行われていた頃の武士の政治的な成長に関する理解に課題がある。
- ◆ 浄土信仰に関する問題（大問4小問2）については、設問別通過率が16.5%であり、浄土信仰の背景、内容等の理解に課題がある。

中世の日本

- ◆ 承久の乱後の世の中の変化について、他の時代との区別における理解に課題がある。
- ◆ 平泉の位置の理解に課題がある。
- ◆ 室町時代の農業技術の進歩を、資料から読み取り判断することに課題がある。
- ◆ 室町時代の農業の発達に関する問題（大問6小問2）については、設問別通過率が14.1%であり、農業技術の進歩を示した資料を、当時の産業全体の発展と関連付けて考察することに課題がある。

世界から見た日本の姿

- ◆ 身近な地域における防災の工夫を、自分の言葉で具体的に考え表現することに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

世界と日本の地域構成

- **地図の活用を重視**
 - ・ 地図を活用して、気候の分布や造山帯の位置などの理解を促すことが必要である。特に、世界の諸地域に見られる特徴的な事象と気候等との因果関係に着目し、地図で確認するなどの学習が重要である。また、緯線、経線、本初子午線などについては、地図等で確認させ、繰り返し指導することが大切である。

地域の規模に応じた調査

- **地形図などの資料を様々な角度から読み取る学習を重視**
 - ・ 様々な地形図等を比較・検討することは、その地域の特徴やさまざまな変化を読み取ることができるとともに、変化の背景や要因、地域の抱える課題や将来像も明らかになってくるので、授業においても積極的に取り上げることが大切である。
- **様々な資料から課題を設定したり、調査してまとめたりする学習を重視**
 - ・ 地理的分野の学習では、なぜこの地域にはこのような地理的事象が見られるのかという問いかけを基に、追求課題を設定し、分析・考察していくことが重要である。その際、日常生活との関連性を常に意識させることが必要である。

古代までの日本

- **資料の読み取り等を通して、歴史的事象についての理解を深める学習を重視**
 - ・ 様々な資料（文献や絵図など）を活用して、歴史的事象を多面的・多角的に考察させ、適切に表現させることを通して、生徒の学習活動をより活発で主体的なものにし、理解を深めるようにすることが重要である。
 - ・ 資料を読み取る際、それまでに学習してきた基礎的・基本的な知識・技能を活用し、習得した知識・技能を定着させることが重要である。その際、生徒の理解を適切に評価し、習得の状況を確認することが必要である。

中世の日本

- **関心ある主題を設定しまとめる活動を通して、歴史を学ぶ意欲を高めることを重視**
 - ・ 歴史的分野の学習では、関心ある主題を設定し、複数の資料を比較して、それぞれの特色や変化に気付かせながら、歴史的事象についてまとめる学習場面を設けることが大切である。その際、他の時代との比較をさせ、違いや変化を理解させたり、歴史的事象の背景を考えさせたりすることが必要である。
 - ・ まとめる活動を行う際、歴史的事象の起こった場所や文化財の位置等を地図上に表すなどの活動を通して、視覚的に歴史的事象と地図を結び付け理解させることが必要である。

世界から見た日本の姿

- **地域調査など具体的な活動を通して、適切に表現する能力や態度の育成を重視**
 - ・ 地理的分野の学習では、身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しようとする態度を養うことが重要である。その際、地理的なまとめ方や発表の仕方の基礎を身に付けさせることが必要である。

3 中学校2年:数 学

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

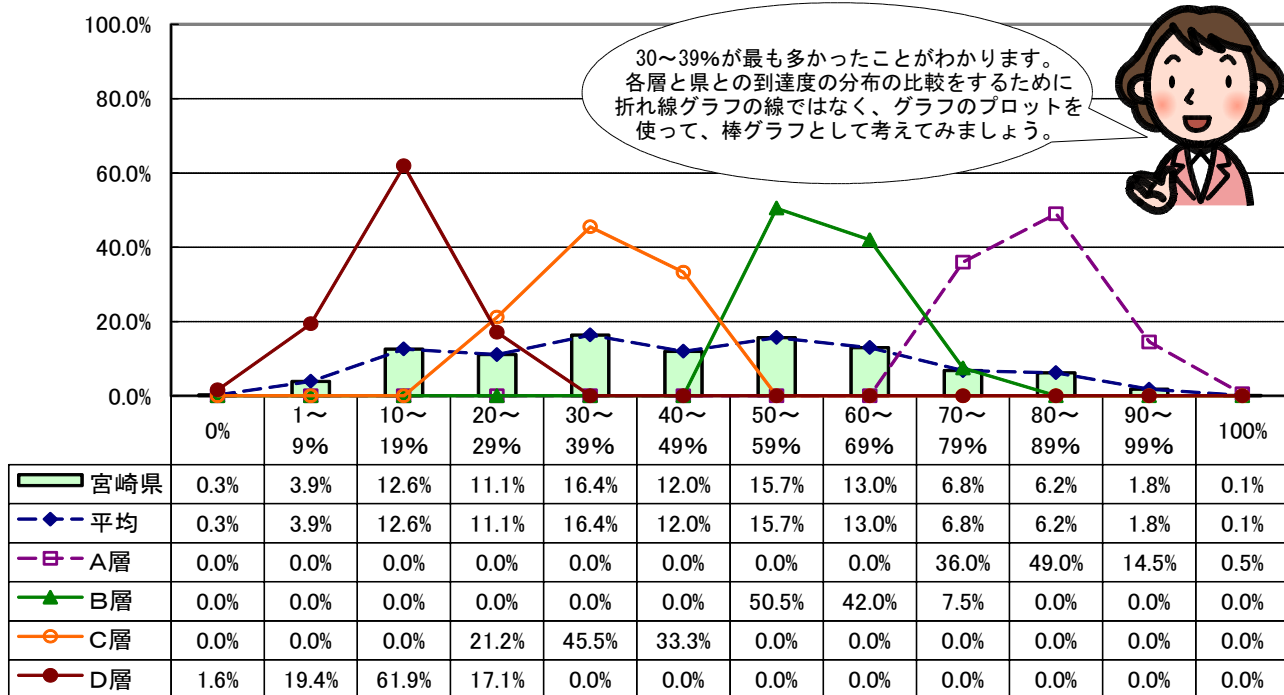
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等				
			A層	B層	C層	D層	
平均到達度	観点	教科全体	45.1	82.7	60.0	36.2	14.7
		技能	54.8	86.8	70.2	48.1	23.6
		知識・理解	40.9	82.8	57.1	29.5	10.4
		見方や考え方	34.9	77.3	48.5	24.8	5.7
	領域	数と式	52.7	89.1	69.8	45.0	17.5
		関数	41.3	82.1	58.0	30.2	10.3
		図形	28.9	69.5	40.3	18.4	5.0
		資料の活用	55.5	85.6	64.6	48.3	35.7
	分類	基礎的・基本的な内容	54.3	87.8	69.8	46.8	23.4
		課題を解決する力	41.0	81.3	59.0	30.7	7.0
		活用する力	30.6	74.1	41.6	20.5	4.9
		達成率	教科全体	21.0	100.0	27.0	0.0
観点	技能	26.3	96.5	44.3	1.1	0.0	
	知識・理解	19.0	84.1	25.7	1.2	0.0	
	見方や考え方	22.8	95.5	33.7	0.8	0.0	
	数と式	29.3	98.9	52.7	1.3	0.0	
領域	関数	16.0	68.1	22.1	1.6	0.0	
	図形	20.3	87.7	27.9	1.6	0.0	
	資料の活用	20.1	66.8	29.4	6.5	1.0	
	分類	基礎的・基本的な内容	28.9	98.9	51.5	1.5	0.0
課題を解決する力		26.8	94.2	45.2	2.5	0.0	
活用する力		21.1	92.7	29.0	1.3	0.0	

目標値	観点	教科全体	65.6
		技能	69.4
		知識・理解	69.4
		見方や考え方	57.9
	領域	数と式	70.6
		関数	67.5
		図形	52.8
		資料の活用	70.0
	分類	基礎的・基本的な内容	72.2
		課題を解決する力	62.8
		活用する力	55.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



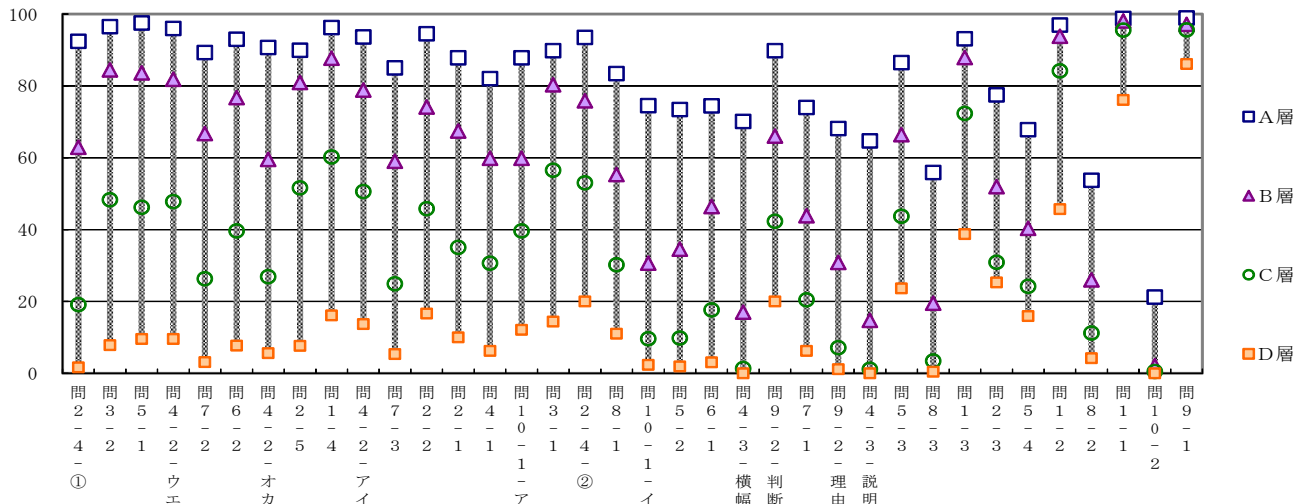
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層～D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	正の数、負の数の加法	数と式	技能	A	92.8	98.8	98.1	95.5	76.1	22.7	0.2
2	1	2	数の減法・除法計算	数と式	技能	A	81.0	96.9	93.8	84.2	45.7	51.2	1.1
3	1	3	数の累乗計算	数と式	技能	A	72.9	93.1	87.9	72.3	38.7	54.4	1.1
4	1	4	文字式の計算	数と式	技能	A	64.3	96.2	87.7	60.2	16.1	80.1	3.1
5	2	1	絶対値	数と式	知識・理解	A	46.6	87.8	67.4	35.0	10.0	77.8	4.8
6	2	2	数の大小関係	数と式	知識・理解	A	54.8	94.5	74.1	45.8	16.6	77.9	4.1
7	2	3	数の大小関係	数と式	知識・理解	A	42.2	77.5	51.9	30.9	25.3	52.2	2.0
8	2	4	文字式の意味	数と式	技能	B1	38.3	92.4	62.9	19.1	1.6	90.8	13.9
9	2	4	文字式の意味	数と式	技能	B1	58.5	93.5	75.8	53.0	20.0	73.5	9.7
10	2	5	大小関係を表す式	数と式	技能	B1	56.6	89.9	80.9	51.6	7.6	82.3	11.5
11	3	1	一次方程式の数量関係式	数と式	見方や考え方	B1	59.5	89.8	80.3	56.5	14.4	75.4	8.5
12	3	2	一次方程式の解法	数と式	技能	A	57.3	96.5	84.4	48.3	7.8	88.7	22.5
13	4	1	数の増え方の規則性	数と式	見方や考え方	B1	41.1	82.0	59.8	30.6	6.2	75.8	7.5
14	4	2	数の増え方の規則性	数と式	見方や考え方	B2	57.3	93.6	78.8	50.6	13.7	79.9	7.1
15	4	2	数の増え方の規則性	数と式	見方や考え方	B2	56.6	96.0	81.8	47.8	9.5	86.5	10.7
16	4	2	数の増え方の規則性	数と式	見方や考え方	B2	40.7	90.7	59.5	26.9	5.6	85.1	14.1
17	4	3①	文字式の利用	数と式	見方や考え方	B2	14.5	70.1	17.0	1.3	0.0	70.1	45.9
18	4	3②	文字式の利用	数と式	見方や考え方	B2	13.1	64.7	14.7	1.1	0.0	64.7	59.7
19	5	1	反比例の意味	関数	知識・理解	A	56.8	97.5	83.6	46.2	9.5	88.0	2.2
20	5	2	座標	関数	知識・理解	A	23.9	73.4	34.5	9.8	1.9	71.5	2.5
21	5	3	比例の意味	関数	技能	A	52.0	86.5	66.4	43.7	23.6	62.9	5.8
22	5	4	反比例の意味	関数	技能	A	33.0	67.8	40.3	24.2	15.9	51.9	11.0
23	6	1	比例のグラフ	関数	知識・理解	A	30.7	74.4	46.4	17.6	3.0	71.4	10.2
24	6	2	反比例のグラフ	関数	技能	A	51.4	93.0	76.7	39.6	7.7	85.3	9.9
25	7	1	点対称の意味	図形	知識・理解	A	31.5	74.0	43.8	20.4	6.2	67.8	2.1
26	7	2	平面の面積	図形	見方や考え方	B1	42.0	89.3	66.7	26.3	3.1	86.2	23.8
27	7	3	円の中心の作図	図形	技能	B1	39.1	85.0	59.0	24.9	5.3	79.7	24.4
28	8	1	投影図	図形	知識・理解	A	40.8	83.4	55.3	30.2	11.0	72.4	8.8
29	8	2	ねじれの位置	図形	技能	B1	19.7	53.7	26.0	11.2	4.2	49.5	14.2
30	8	3	立体の体積	図形	技能	B1	14.4	55.9	19.5	3.4	0.4	55.5	35.9
31	9	1	ヒストグラム	資料の活用	技能	A	94.5	98.9	97.1	95.6	86.1	12.8	1.5
32	9	2①	平均値	資料の活用	技能	A	51.1	89.8	66.0	42.3	20.0	69.8	27.3
33	9	2②	平均値	資料の活用	見方や考え方	B2	20.9	68.1	30.8	7.1	1.1	67.0	39.8
34	10	1	作図方法	図形	見方や考え方	B2	46.4	87.8	59.8	39.6	12.1	75.7	15.0
35	10	1	作図の説明	図形	見方や考え方	B2	22.8	74.5	30.6	9.6	2.3	72.2	20.3
36	10	2	作図	図形	見方や考え方	B2	3.5	21.2	2.1	0.5	0.0	21.2	37.7

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別：各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 技 能** — 事象を文字式や方程式、グラフ、図形などで数学的に表現し処理することができるかどうかをみる問題。
 (例) ■数の四則計算や一次方程式、角柱の体積を求めることができる。
 ■反比例のグラフをかくことができる。円の中心を作図できる。
- 知識・理解** — 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けているかどうかをみる問題。
 (例) ■数の大小関係や文字式の意味を理解する。
 ■座標や反比例の関係について理解する。
- 見方や考え方** — 事象を数学的にとらえ、論理的に考察し表現するなど、数学的な見方や考え方が身に付いているかどうかをみる問題。
 (例) ■見いだした数学的な事実や事柄が成り立つ理由を説明する。
 ■事象から、条件や性質、規則性を見だし、問題の解決を図る。

■ 課題等

数と式

- ◇ 正の数と負の数の加法の計算を問う問題（大問1小問1）については、設問別通過率が92.8%であり、領域の目標値70.6%をかなり上回っている。
- ◇ 数の減法と除法の混じった計算を問う問題（大問1小問2）については、設問別通過率が81.0%であり、領域の目標値をかなり上回っている。
- ◇ 累乗の計算を問う問題（大問1小問3）については、設問別通過率が72.9%であり、領域の目標値をやや上回っている。
- ◆ 分数の大小関係を不等号で表す問題（大問2小問3）に課題がある。小学校算数においても同様の傾向がみられる。
- ◆ 図形の数量を表した文字式の意味を読み取る問題（大問2小問4）に課題がある。
- ◆ 規則性のある数量を文字式で表す問題（大問4小問3①）、考え方を説明する問題（大問4小問3②）については、設問別通過率がそれぞれ14.5%、13.1%と、特に課題がある。

関 数

- ◆ 座標に対応する比例や反比例の式を答える問題（大問5小問2）については、設問別通過率が23.9%であり、領域の目標値67.5%をかなり下回っている。
- ◆ 反比例の関係を式に表す問題（大問5小問4）については、設問別通過率が33.0%であり、領域の目標値をかなり下回っている。
- ◆ 比例のグラフから、 x 、 y の関係を式に表す問題（大問6小問1）に課題がある。

図 形

- ◆ 点対称の意味を理解し、点対称な図形を選ぶ問題（大問7小問1）については、設問別通過率が31.5%であり、領域の目標値52.8%をかなり下回っている。
- ◆ 投影図が表す空間図形を読み取り、ねじれの関係にある辺の数を答える問題（大問8小問2）、読み取った角柱の体積を求める問題（大問8小問3）に課題がある。
- ◆ 作図された点が線分の和を最短距離にすることを説明する問題（大問10小問1②）に課題がある。
- ◆ 基になる作図と説明を振り返り、条件を変えて発展的に考える問題（大問10小問2）に課題がある。

資料の活用

- ◇ 資料をヒストグラムを用いて整理する問題（大問9小問1）については、設問別通過率が94.5%であり、領域の目標値70.0%をかなり上回っている。
- ◆ 問題を解決するために、平均値を用いて資料の傾向をとらえて判断し、判断した理由を表現する問題（大問9小問2②）については、設問別通過率が20.9%であり、特に課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

数と式

- 基礎的・基本的な事項を定着させ、計算を習熟させる学習の重視
 - ・ 数の大小関係や絶対値の意味について、数直線上に示したり、示した数を読み取ったりするなどして、確実に理解させる必要がある。特に分数は、分母や分子の意味と分数の大きさの関係について、小学校と連携し、継続して指導することが重要である。
 - ・ 負の数や指数を含む四則計算の習熟を図り、確実に定着させることが大切である。
- 文字を用いることの必要性や意味を理解させ、文字式を利用することのよさを実感する学習の重視
 - ・ 事象における数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことや、文字式の意味を読み取ることができるようにする必要がある。
 - ・ 自分の思考の過程を文字を用いて表し、伝え合う活動を通して、文字式のよさを実感させることが重要である。
- 方程式の必要性和意味を明確にして、理解を深めさせる学習の充実
 - ・ 着目する数量や数量の関係をとらえて立式し、解を求めることができるように指導することが大切である。

関数

- 比例や反比例の意味や性質を理解させ、表、式、グラフによる表現を相互に関連付ける学習の重視
 - ・ 表の値をグラフ上の点の座標として表し、グラフをかくことを通して、グラフの形状を視覚的にとらえることができるように指導することが大切である。
 - ・ グラフから式を求めたり、式からグラフを求めたりして、グラフの特徴と式とを関連付けて考えさせる必要がある。

図形

- 平面及び空間における図形の基本事項を定着させ、面積や体積を求める計算を習熟させる学習の充実
 - ・ 点対称の学習では、簡単な図形などを利用して、対称性に着目させて図形の性質をとらえさせることが大切である。
 - ・ 扇形を円の一部として捉え、円を折ったり切ったりするなどの観察、操作や実験を通して、面積がその中心角の大きさに比例することを理解させることが必要である。
 - ・ 投影図や見取り図を相互に関連付けて扱い、実感を伴った理解を促す必要がある。
 - ・ 作図においては、手順に基づいて作図できるだけでなく、図形の対称性や図形を決定する要素に着目させ、その作図の意味について理解させる必要がある。
- 図形の性質を見いだしたり、数学的な表現を用いたりして、自分なりに説明し伝え合う活動をさせる学習の重視
 - ・ 課題の解決を図るために、対称性や図形の特徴に着目して、見通しをもって考えさせ、数学的な表現を用いて論理的に説明できるように指導することが重要である。

資料の活用

- 度数分布表や代表値、ヒストグラムを用いて資料の傾向を読み取らせる学習の充実
 - ・ 度数分布表からヒストグラムをかいたりすることや、代表値の必要性和意味を理解させ、その値を求められるようにすることが大切である。
 - ・ ある事柄を判断する学習では、目的に応じて資料の傾向を読み取り、その判断の理由を数学的な表現を用いて、的確に説明できるように指導することが重要である。

4 中学校2年:理 科

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等				
			A層	B層	C層	D層	
平均到達度	観点	教科全体	44.2	81.1	59.2	36.1	15.9
		知識・理解	52.4	90.1	71.1	43.8	17.2
		観察・実験の技能	43.4	73.5	49.4	37.9	29.9
		思考・表現	31.4	68.2	42.2	23.4	11.1
	領域	生物的領域	57.8	88.8	73.6	51.9	25.2
		地学的領域	54.8	94.9	77.4	44.8	14.7
		化学的領域	28.7	63.7	40.0	21.2	7.5
		物理的領域	31.7	78.3	42.3	20.9	14.1
	分類	基礎的・基本的な内容	53.5	88.3	70.3	46.2	20.4
		課題を解決する力	33.3	74.4	46.9	23.4	10.1
		活用する力	34.3	67.5	44.9	27.7	12.7
		達成率	15.2	100.0	20.1	0.0	0.0
達成率	観点	教科全体	15.2	100.0	20.1	0.0	0.0
		知識・理解	23.9	98.9	46.5	0.3	0.0
		観察・実験の技能	18.8	53.7	22.8	12.9	7.9
		思考・表現	12.9	81.6	17.0	0.7	0.0
	領域	生物的領域	47.6	99.5	84.0	27.2	0.4
		地学的領域	31.5	94.5	59.5	9.1	0.1
		化学的領域	9.9	67.3	11.8	0.5	0.0
		物理的領域	10.8	71.3	13.2	0.8	0.1
	分類	基礎的・基本的な内容	25.8	99.0	51.5	0.9	0.0
		課題を解決する力	17.1	96.2	26.3	0.5	0.0
		活用する力	27.3	80.2	42.5	14.4	2.5

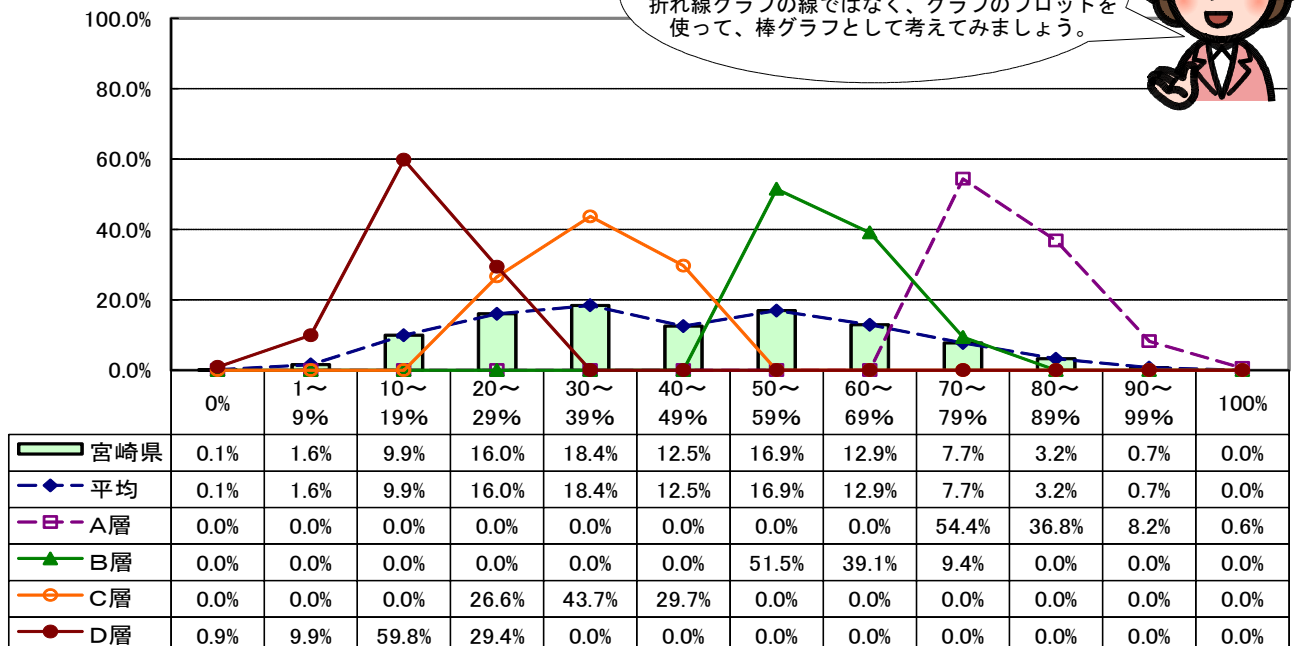
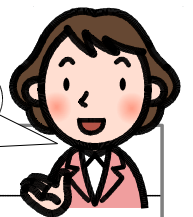
目標値	観点	教科全体	64.6
		知識・理解	70.3
		観察・実験の技能	67.5
		思考・表現	55.0
	領域	生物的領域	64.4
		地学的領域	70.0
		化学的領域	60.0
		物理的領域	66.0
	分類	基礎的・基本的な内容	72.7
		課題を解決する力	57.0
		活用する力	50.0



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況

30~39%が最も多かったことがわかります。
各層と県との到達度の分布の比較をするために
折れ線グラフの線ではなく、グラフのプロットを
使って、棒グラフとして考えてみましょう。



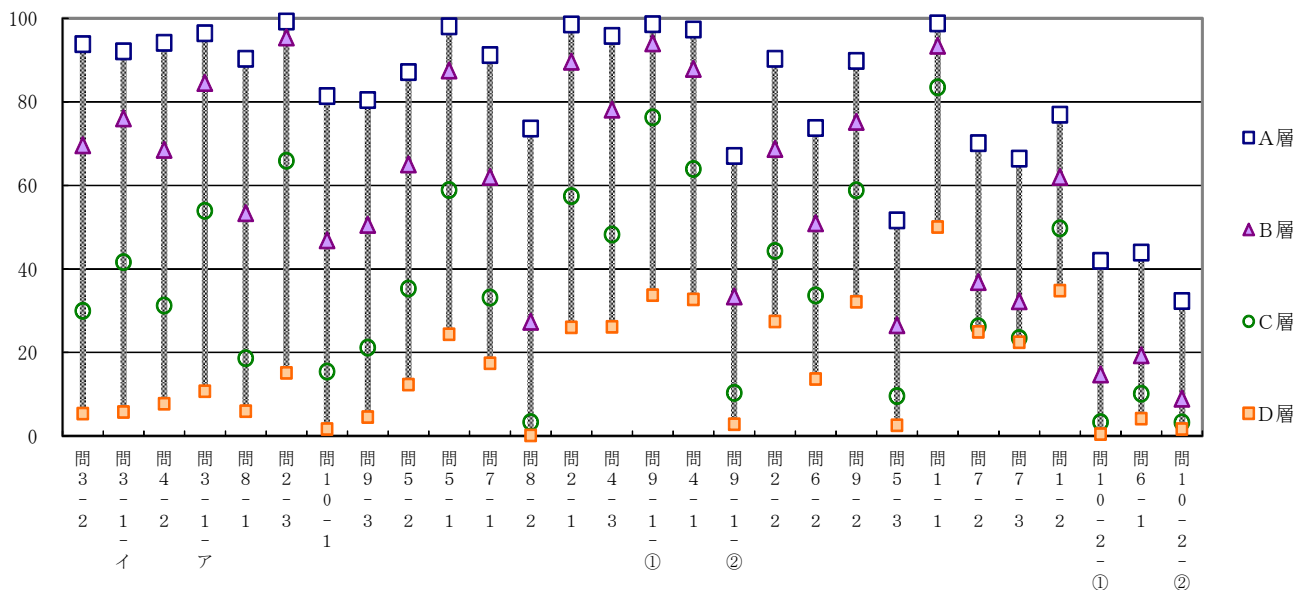
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	身のまわりの生物の観察	生物的領域	知識・理解	A	82.6	98.8	93.4	83.5	50.0	48.8	0.1
2	1	2	ルーペの使い方	生物的領域	観察・実験の技能	A	53.6	76.9	62.0	49.7	34.8	42.1	0.1
3	2	1	植物のなかま分けの観点	生物的領域	知識・理解	B1	66.3	98.5	89.6	57.4	26.0	72.5	0.2
4	2	2	植物のなかま分け	生物的領域	知識・理解	A	53.5	90.3	68.7	44.3	27.4	62.9	0.4
5	2	3	種子をつくらない植物のなかまのふやし方	生物的領域	知識・理解	A	70.1	99.2	95.4	65.9	15.1	84.1	4.8
6	3	1-ア	れき・砂・泥のでき方	地学的領域	知識・理解	A	60.5	96.4	84.5	53.9	10.7	85.7	12.2
7	3	1-イ	れき・砂・泥のでき方	地学的領域	知識・理解	A	51.3	92.1	76.0	41.6	5.7	86.4	18.9
8	3	2	泥が堆積する理由	地学的領域	知識・理解	B1	44.4	93.8	69.6	29.9	5.3	88.5	10.3
9	4	1	初期微動継続時間と震源からの距離の関係	地学的領域	知識・理解	A	69.5	97.3	87.9	63.9	32.7	64.6	1.2
10	4	2	初期微動継続時間と地震波の関係	地学的領域	知識・理解	A	45.0	94.1	68.5	31.2	7.7	86.4	7.4
11	4	3	震央の選択	地学的領域	思考・表現	B1	58.4	95.8	78.1	48.2	26.1	69.7	1.3
12	5	1	水素の発生	化学的領域	知識・理解	A	65.9	98.1	87.5	58.9	24.3	73.8	0.2
13	5	2	水素の性質	化学的領域	知識・理解	A	45.7	87.1	65.0	35.3	12.3	74.8	0.3
14	5	3	物質の反応	化学的領域	思考・表現	B1	17.6	51.6	26.5	9.5	2.5	49.1	24.3
15	6	1	溶解度と再結晶	化学的領域	思考・表現	A	15.0	43.9	19.3	10.1	4.1	39.8	0.7
16	6	2	溶解度と再結晶	化学的領域	思考・表現	B1	39.4	73.7	50.9	33.6	13.6	60.1	0.7
17	7	1	凸レンズと光の進み方	物理的領域	知識・理解	A	45.0	91.2	62.0	33.1	17.4	73.8	0.4
18	7	2	凸レンズと実像	物理的領域	観察・実験の技能	A	33.2	70.1	36.8	26.2	24.9	45.2	0.9
19	7	3	凸レンズと実像	物理的領域	思考・表現	B1	29.8	66.4	32.2	23.4	22.4	44.0	1.3
20	8	1	物体が押す力	物理的領域	知識・理解	A	34.1	90.3	53.3	18.6	5.9	84.4	8.6
21	8	2	物体から受ける圧力	物理的領域	知識・理解	B1	16.7	73.6	27.3	3.3	0.1	73.5	18.3
22	9	1	蒸散	生物的領域	知識・理解	A	77.0	98.6	94.0	76.3	33.7	64.9	4.1
23	9	1	サボテンの気孔のしくみ	生物的領域	思考・表現	B1	21.5	67.0	33.4	10.3	2.8	64.2	10.8
24	9	2	サボテンの二酸化炭素の取り入れ	生物的領域	思考・表現	B2	62.4	89.8	75.2	58.8	32.1	57.7	2.6
25	9	3	サボテンのひだの役割	生物的領域	思考・表現	B2	33.1	80.4	50.5	21.1	4.5	75.9	20.0
26	10	1	水溶液の性質	化学的領域	思考・表現	B1	29.1	81.4	46.8	15.4	1.6	79.8	17.9
27	10	2	水の状態変化	化学的領域	知識・理解	B1	9.9	41.9	14.7	3.3	0.4	41.5	14.0
28	10	2	水の密度	化学的領域	思考・表現	B2	7.3	32.3	8.9	3.2	1.6	30.7	22.9

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別:各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解** — 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■植物の体のつくりから、適切になかま分けできる。
■水素の性質を理解している。
- 観察・実験の技能** — 観察・実験の基本操作が身に付いているかどうか、観察・実験の過程や結果を的確に記録、整理できるかどうかをみる問題。
(例) ■適切なルーペの使い方を選ぶことができる。
- 思考・表現** — 自然の事物・現象による事象や結果を分析して解釈し、表現することができるかどうかをみる問題。
(例) ■地震計の記録から、震央の位置を推測することができる。
■溶解度曲線から水にとける物質の量がわかり、とけ残る量を求めることができる。

■ 課題等

生物学的領域

- ◇ 観察結果から、植物の生育に適した環境を選択する問題（大問1小問1）については、設問別通過率82.6%であり、領域の目標値64.4%をかなり上回っている。
- ◆ 既習事項を活用し、乾燥した地域に生育する植物が昼間は気孔を閉じている理由を説明する問題（大問9小問1(2)）については、設問別通過率21.5%であり、観点（思考・表現）の目標値55.0%をかなり下回っている。水の蒸散の仕組みと植物の気孔のはたらきについて既習事項を活用して問題を解決することに課題がある。

地学的領域

- ◆ 泥が岸から離れた場所に堆積する理由を説明する問題（大問3小問2）については、設問別通過率44.4%であり、領域の目標値70.0%をかなり下回っている。粒の大きさと堆積する場所の関係についての基礎的・基本的な知識の習得に課題がある。
- ◆ 初期微動継続時間と地震の伝わり方の関係を問う問題（大問4小問2）については、設問別通過率45.0%であり、領域の目標値をかなり下回っている。P波とS波の伝わる速さの違いと初期微動継続時間の関係を結び付けて考えることに課題がある。

化学的領域

- ◆ 水素の性質を選択する問題（大問5小問2）については、設問別通過率45.7%であり、領域の目標値60.0%をかなり下回っている。水素の性質という基礎的・基本的な知識の習得に課題がある。
- ◆ 温度が0℃のときの水の状態を問う問題（大問10小問2(2)）については、設問別通過率9.9%であり、領域の目標値をかなり下回っている。水は0℃で状態変化し、融点では固体と液体が混ざった状態であるという基礎的・基本的な知識の習得に課題がある。

物理的領域

- ◆ 凸レンズを通過する光の量の進み方を問う問題（大問7小問1）については、設問別通過率45.0%であり、領域の目標値66.0%をかなり下回っている。凸レンズを通る光の進み方についての基礎的・基本的な知識の習得に課題がある。
- ◆ 圧力を求める問題（大問8小問2）については、設問別通過率16.7%であり、領域の目標値66.0%をかなり下回っている。圧力を求めることに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています

■ 指導改善のポイント

生物学的領域

- 植物の体のつくりをおさえ、なかま分けの着目点を理解させる学習を重視
 - ・ 観察や実験などを通して、植物の体のつくりや特徴を確実に理解させた上で、身近な植物等のなかま分けを知識と結び付けて実際に行わせることが大切である。
- 植物の体のつくりと光合成・蒸散の関係を考えさせる学習を重視
 - ・ 蒸散が行われると、吸水が起こることを実験結果に基づいて理解させるとともに、既習事項を活用して考察するような例についても考えさせる必要がある。

地学的領域

- 地層の構成物の種類と地層の堆積環境を推測させる学習を重視
 - ・ 地層の構成物の種類、粒の大きさ、色や硬さなどの特徴からそのでき方を考察して、地層の重なりや広がり方の規則性を見いださせたり、堆積環境を推定させたりすることが大切である。
- 地震の伝わり方について、地震計の記録を基に考えさせる学習を重視
 - ・ 地震の揺れについては、体験や地震計の記録から認識させ、同一の地震について揺れの伝わり方を作図を通してとらえさせたり、初期微動継続時間の長さが震源からの距離に関係していることをとらえさせたりすることが大切である。

化学的領域

- 気体の発生や捕集などの実験を通して、気体の種類による特性を見いださせる学習を重視
 - ・ 気体を発生させて捕集する実験を通して、気体の基本的な性質を理解させ、その特性に応じた捕集法があることを理解させることが重要である。
- 溶解度曲線を読み取り、温度変化と溶解度を関係付ける学習を重視
 - ・ 溶解度曲線は水100 gにとける溶質の質量であり、溶媒の質量が変われば比例してとけることができる溶質の質量も変わることや、温度が下がればとけることができる溶質の質量も変化することを、実験や日常生活と結び付けて考えさせることが重要である。

物理的領域

- 凸レンズのはたらきについて理解させる学習を重視
 - ・ 凸レンズを用いてできる像を観察して実験の結果を考察させ、定性的な関係を見いださせることが大切である。
 - ・ 基礎的・基本的な知識として理解させるために、凸レンズを通った光の進み方については作図を用いて考えさせることが必要である。
- 圧力について理解させる学習を重視
 - ・ 重さについては、小学校の学習を踏まえながら、力の一種であることを理解させることが重要である。
 - ・ スポンジなどの柔らかい物体に接触面積を変えて同じ力を加えたときのへこみ方の違いを調べさせたり、へこみ方は接触面積と関係があるという圧力の考え方を見いださせたりすることが必要である。
 - ・ 圧力に関係のある身近な事物・現象を取り上げ、日常生活と関連させて理解させることが重要である。

5 中学校2年:英 語

■ 学習到達度調査の概要

□ 学習到達度調査

(%)

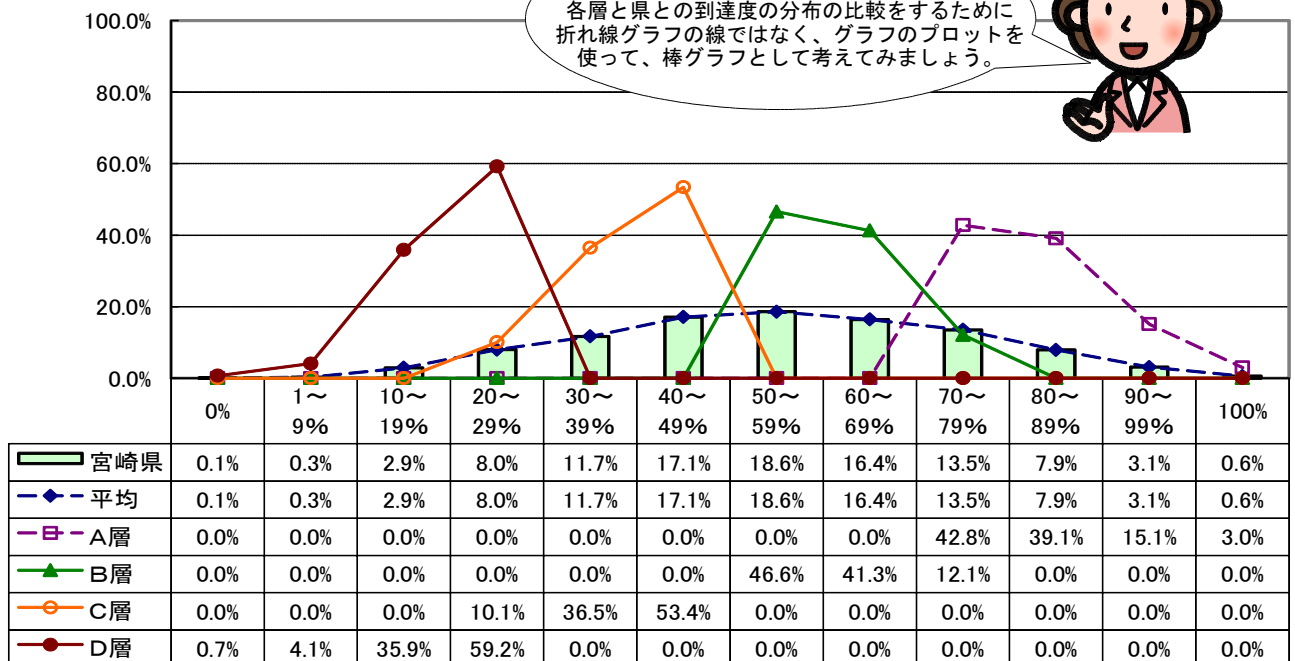
観点・領域・分類		全県	全県の階層に含まれる児童生徒の平均到達度等				
			A層	B層	C層	D層	
平均到達度	観点	教科全体	55.6	84.0	61.5	39.6	19.0
		理解	58.5	84.6	64.2	43.7	23.7
		知識・理解	71.0	96.8	84.9	52.7	9.4
	領域	表現	28.4	71.0	29.4	7.1	0.4
		聞くこと	76.9	94.2	82.7	67.5	41.7
		読むこと	45.8	77.9	51.4	27.2	11.2
	分類	書くこと	46.6	82.0	53.2	26.7	4.3
		基礎的・基本的な内容	77.0	94.9	84.2	66.7	36.4
		課題を解決する力	47.2	82.3	53.7	26.2	9.9
達成率	観点	活用する力	33.4	67.2	35.5	16.4	5.1
		教科全体	35.8	100.0	39.1	0.0	0.0
		理解	37.0	100.0	42.0	0.0	0.0
	領域	知識・理解	75.6	99.7	94.2	55.3	3.6
		表現	33.2	90.7	34.5	3.5	0.0
		聞くこと	65.0	99.0	83.0	37.2	1.1
	分類	読むこと	22.2	88.3	10.7	0.0	0.0
		書くこと	44.5	98.0	56.6	6.5	0.0
		基礎的・基本的な内容	72.7	99.8	94.3	46.9	0.0
達成率	課題を解決する力	29.6	96.9	25.1	0.0	0.0	
	活用する力	32.6	91.3	33.4	2.7	0.0	

目標値	観点	教科全体	64.3
		理解	68.2
		知識・理解	61.7
	領域	表現	45.0
		聞くこと	73.9
		読むこと	64.2
	分類	書くこと	52.1
		基礎的・基本的な内容	72.7
		課題を解決する力	64.6
活用する力	48.3		



達成率を見ると、
集団全体と各層で、設
定された目標値を何%
の人が達成したかが
わかります。

□ 到達度分布状況



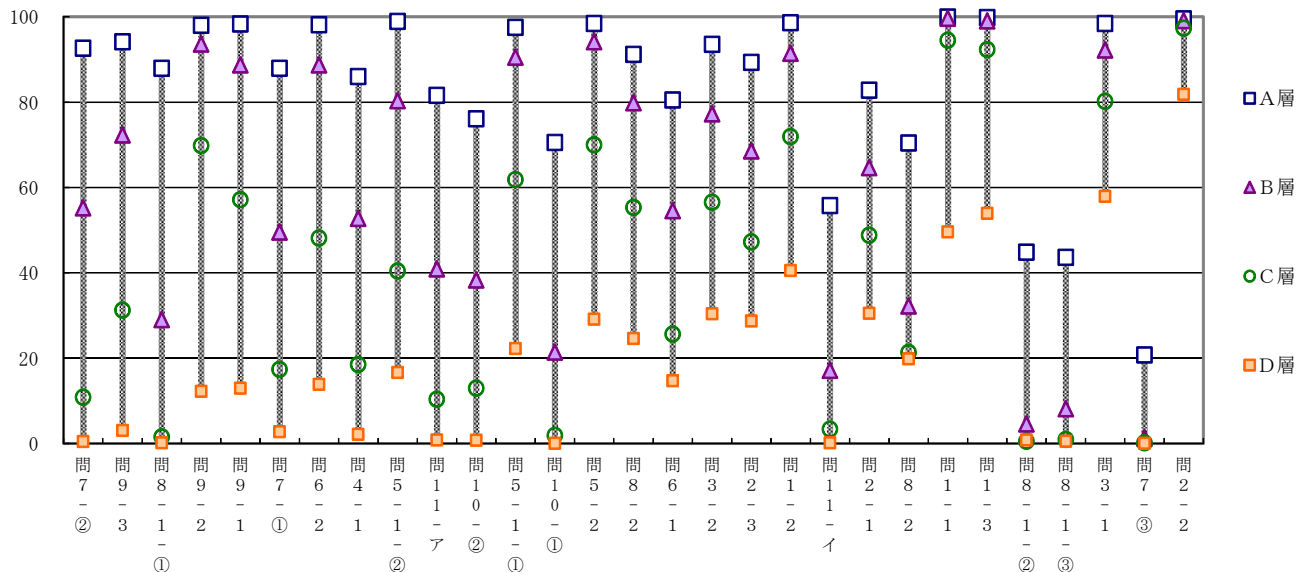
■ 設問別解答状況一覧

□ 設問別通過率 ※A層～D層の数値は、各層の中で、設問ができた人の割合です。 (%)

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全県	A層	B層	C層	D層	A層～D層	無解答率
通し番号	大問	小問											
1	1	1	身近な慣用表現に対する応答	聞くこと	理解	A	94.0	99.9	99.6	94.5	49.6	50.3	0.1
2	1	2	現在進行形の疑問文に対する応答	聞くこと	理解	A	82.5	98.6	91.4	71.9	40.5	58.1	0.2
3	1	3	wh-疑問文に対する応答	聞くこと	理解	A	93.4	99.8	99.0	92.3	53.9	45.9	0.2
4	2	1	日付に関する序数の理解	聞くこと	理解	A	60.5	82.8	64.6	48.8	30.5	52.3	0.2
5	2	2	過去の動作を表す一般動詞の理解	聞くこと	理解	A	97.2	99.5	99.1	97.3	81.8	17.7	0.1
6	2	3	場所を尋ねる疑問文の理解	聞くこと	理解	A	62.7	89.3	68.5	47.2	28.7	60.6	0.3
7	3	1	現在進行形及び名詞の意味の理解	聞くこと	理解	A	86.9	98.4	92.2	80.2	57.9	40.5	0.2
8	3	2	1日の生活の様子についての理解	聞くこと	理解	A	70.1	93.5	77.2	56.5	30.4	63.1	0.3
9	4	1	聞きとった英語の書き取り	聞くこと	理解	A	44.5	86.0	52.7	18.5	2.1	83.9	4.3
10	5	1	対話文の内容理解	読むこと	理解	B1	77.3	97.5	90.5	61.8	22.2	75.3	0.5
11	5	1	対話文の内容理解	読むこと	理解	B1	66.2	98.9	80.3	40.4	16.6	82.3	0.6
12	5	2	対話文の内容理解	読むこと	理解	B2	82.0	98.4	94.1	70.0	29.1	69.3	0.6
13	6	1	相手へ指示する表現の仕方	読むこと	理解	B1	47.3	80.5	54.5	25.6	14.7	65.8	0.9
14	6	2	相手へ聞き返す表現の仕方	読むこと	理解	B1	71.6	98.1	88.7	48.1	13.8	84.3	1.0
15	7	1	一般動詞の活用についての理解	読むこと	理解	B1	43.3	87.9	49.5	17.3	2.7	85.2	14.6
16	7	2	曜日名の理解	読むこと	理解	B1	44.2	92.6	55.2	10.8	0.4	92.2	20.5
17	7	3	代名詞の活用についての理解	読むこと	理解	B2	4.7	20.7	1.2	0.1	0.0	20.7	16.7
18	8	1	適切な英単語の活用	読むこと	理解	B1	29.9	87.9	29.0	1.5	0.1	87.8	13.1
19	8	1	適切な英単語の活用	読むこと	理解	B1	11.1	44.8	4.5	0.5	0.8	44.0	18.2
20	8	1	適切な句の活用についての理解	読むこと	理解	B1	12.4	43.6	8.1	0.9	0.5	43.1	11.4
21	8	2	日記の内容理解	読むこと	理解	B1	69.9	91.2	79.8	55.3	24.6	66.6	2.4
22	8	2	日記の内容理解	読むこと	理解	B1	35.4	70.4	32.2	21.3	19.8	50.6	2.7
23	9	1	相手の行動を促す否定命令文の使い方	書くこと	知識・理解	A	74.5	98.3	88.7	57.1	12.9	85.4	1.8
24	9	2	曜日の尋ね方	書くこと	知識・理解	A	80.4	98.0	93.6	69.8	12.2	85.8	1.6
25	9	3	数の尋ね方	書くこと	知識・理解	B1	58.0	94.1	72.3	31.2	3.0	91.1	2.0
26	10	1	依頼や質問などの場面での表現の仕方	書くこと	表現	B2	23.4	70.5	21.4	1.9	0.0	70.5	21.7
27	10	2	依頼や質問などの場面での表現の仕方	書くこと	表現	B2	34.8	76.1	38.3	12.9	0.7	75.4	18.0
28	11	1	応募用紙についての条件英作文	書くこと	表現	B2	36.2	81.6	40.9	10.3	0.8	80.8	16.2
29	11	2	応募用紙についての条件英作文	書くこと	表現	B2	19.2	55.7	17.1	3.3	0.1	55.6	31.1

分類	A	基礎的・基本的な内容を問う問題
	B1	基礎的・基本的な内容を生かして課題を解決する力を問う問題
	B2	知識・技能等を実生活の様々な場面において活用する力などを問う問題

□ 設問別：各層の通過率 ※A層とD層との差(定着の差)が大きい設問順に左から並べています。



■ 調査問題の趣旨・内容

- 理解** — 「聞くこと」「読むこと」の領域において、英語で話された内容や英語で書かれた文章の内容を正しく理解できるかをみる問題。
- (例) ■英語での問いかけに適切に応答する。
 ■英語を聞いて、概要や要点を正確に理解する。
 ■英語を聞いて、適切な語句を正確に書き取る。
 ■英語を読んで、概要や要点を正確に理解する。
 ■英語を読んで、対話の詳細（代名詞や数値など）を正しく理解する。
- 知識・理解** — 英語の基本的な語彙や文構造などの文法的な知識が定着しているかどうかをみる問題。
- (例) ■与えられた英語を使い、正しい語順で英文を書く。
- 表現** — 英語が使われる実際の場面において、相手の行動を促したり、自分の考えや気持ち、意向を伝えたりするなど、言語の働きを意識して、適切な内容で表現することができるかどうかをみる問題。
- (例) ■与えられた場面に即して自分が伝えたい内容を考え、適切に表現する。
 ■英文を読んで内容の詳細を理解し、自分の思いや考えを適切に表現する。

■ 課題等

聞くこと

- ◇ 身近な慣用表現に対する応答（大問1小問1）やWh-疑問文に対する応答（大問1小問3）及び過去の動作を表す一般動詞の理解（大問2小問2）は、それぞれの設問別通過率が94.0%、93.4%、97.2%であり、領域の目標値73.9%をかなり上回っている。
- ◆ 日付けに関する序数の理解（大問2小問1）は、昨年に引き続いての出題であったが、設問別通過率60.5%であり、領域の目標値をかなり下回っている。語彙のもつ特有の音に注意して、正しく聞き取ることに課題がある。
- ◆ 聞き取った英語の書き取り（大問4）は、設問別通過率が44.5%であり、領域の目標値をかなり下回っている。基本的な音の連結や音の変化に注意して、正しく聞き取ることに課題がある。

読むこと

- ◇ 対話文の内容理解（大問5小問1、2）は、設問別通過率が77.3%、82.0%であり、領域の目標値の64.2%をかなり上回っている。
- ◇ 相手へ聞き返す表現の仕方（大問6小問2）は、設問別通過率が71.6%で、領域の目標値64.2%をかなり上回っている。
- ◆ 代名詞の活用についての理解（大問7小問3）は、設問別通過率が4.7%、適切な英単語の活用は11.1%であり、領域の目標値の64.2%をかなり下回っている。身に付けた知識や語句などを、適切に活用することに課題がある。

書くこと

- ◇ 曜日の尋ね方（大問9小問2）は、設問別通過率が80.4%と領域の目標値52.1%をかなり上回っている。
- ◇ 数の尋ね方（大問9小問3）は、昨年に引き続いての出題であったが、設問別通過率58.0%であり、領域の目標値52.1%を上回っている。
- ◆ 依頼や質問などの場面における表現や条件英作文（大問10、11）に関する表現では、設問別通過率がそれぞれ23.4%、19.2%であり、目標値52.1%をかなり下回っている。「言語の使用場面と言語の働き」を理解し、自分の思いや考えを適切に表現できる力を高めることに課題がある。

◇…よくできている点 ◆…課題のある点 下線部は分類B2との関連を示しています。

■ 指導改善のポイント

聞くこと

- 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取る指導
 - ・ 英語を聞き取らせる際、音変化（音の連結や同化、欠落、語と語の連結など）の特徴に慣れ親しませるために、何回も繰り返して聞かせたり、聞く視点を与え、文脈の流れに注意して聞きとらせたりすることが必要である。特に、日付や曜日など基本的な英語を聞いて、正しく書くことができる指導の充実が重要である。
- 質問や依頼などを聞いて適切に応じる指導
 - ・ 言語使用の場面や言語の働きを意識して聞き取らせたり、キーワードをメモして聞かせたりするなどの工夫をしながら言語活動を充実させていくことが必要である。
- まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることの指導
 - ・ 記述、説明、主張、指示、叙述など内容的にまとまりのある複数の英文を聞き、全体の概要や内容の要点を捉えさせる指導が大切である。その際、聞くためのタスクを設定し、あらすじを理解したり、話し手の態度を認識したりするなど、実際のコミュニケーションの場面で言語を運用できる力を育てていく指導も必要である。

読むこと

- 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じる指導
 - ・ 伝言や手紙などの文章を読む際には、場面や状況を把握しながら、書き手の意思や考えを読み手にどのように伝えたいのかを理解させる指導が必要である。
 - ・ 文脈や前後関係に注意しながら内容に適切に応じたり、その内容に対する自分の思いや考えなどを「書くこと」と関連付けたりする指導の工夫が重要である。
- まとまりのある英文を読んで、書かれた内容や考え方などをとらえさせる指導
 - ・ 内容理解にとどまらず、読み手として書かれた内容を自分の考えと比較させたり、感想を述べさせたりするなどの活動を組み合わせて指導を行うことが必要である。

書くこと

- 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書く指導
 - ・ 聞いたり読んだりしたことの内容を理解するだけに止めることなく、自分の感想や意見、理由などをもとにコミュニケーション活動を充実させる手立てを講じた指導を行うことが必要である。
 - ・ 語の配列や文構造などにも留意して書くことができるように、必要に応じて文法事項を整理する機会を設けるなどの指導の充実を図ることが重要である。
- 内容的にまとまりのある英文を書く指導
 - ・ 英語の使用場面と言語の働きを理解させ、英文を書く目的や内容及び方法を明確にした指導の充実を図ることが必要である。また、書いたものを基にコミュニケーション活動を行うなど、積極的に言語活動を行わせる指導も必要である。
 - ・ 身近な場面における出来事や体験したことなどを自由に書かせたり、接続詞、副詞、代名詞やことばの置き換えなどを用いて書かせたりする指導が重要である。

Ⅲ 意識調査の分析結果

意識調査設問別回答状況（県全体）

A層・B層・C層・D層は、全教科の到達度を基に上位から4層に分けて表示したものである。

Ⅲ-1 小学校

■「授業」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	好きな授業	① 国語	70.8	82.0	72.4	61.4	53.7	28.3
		② 社会	61.8	72.7	62.8	53.3	46.6	26.1
		③ 算数	77.2	87.4	78.9	69.2	54.4	33.0
		④ 理科	88.4	92.4	89.7	83.8	79.8	12.6
		⑤ 音楽	79.8	84.2	81.3	74.8	70.9	13.3
		⑥ 図画工作	86.9	85.9	87.5	87.3	81.8	4.1
		⑦ 体育	89.3	86.9	89.7	90.4	87.9	-1.0
		⑧ 道徳	77.6	78.3	78.3	76.2	72.9	5.4
		⑨ 総合的な学習の時間	82.6	88.9	85.0	75.9	62.3	26.6
		⑩ 学級活動	88.6	92.5	90.2	85.1	70.4	22.1
2	授業理解	① 国語	90.3	98.3	93.0	82.7	63.3	35.0
		② 社会	81.5	92.7	83.7	71.3	60.8	31.9
		③ 算数	88.0	97.1	90.0	80.1	65.3	31.8
		④ 理科	92.9	97.4	94.2	88.8	78.6	18.8
		⑤ 音楽	88.3	93.1	89.9	83.8	70.4	22.7
		⑥ 図画工作	94.6	95.9	95.7	92.9	85.5	10.4
		⑦ 体育	95.9	96.4	96.6	94.9	89.9	6.5
		⑧ 道徳	89.9	94.2	91.6	84.9	75.9	18.3
		⑨ 総合的な学習の時間	89.0	95.9	91.2	82.6	67.2	28.7
		⑩ 学級活動	91.9	97.5	93.9	86.0	72.9	24.6
3	普段の授業	① 本やインターネットを使って、調べる活動をよく行っている	56.3	59.8	56.6	53.9	49.5	10.3
		② 自分の考えを発表する機会がある	78.7	91.0	81.8	66.4	53.4	37.6
		③ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている	82.0	86.8	83.9	77.2	64.8	22.0
		④ ノートをていねいに書いている	75.4	81.9	77.6	68.9	55.7	26.2

- 本県の小学5年生が最も好きな授業とわかる授業は体育である。
- A層とD層の児童の差が大きくみられるのは、好きな授業では「国語、社会、算数、総合的な学習の時間、学級活動」、わかる授業では「国語、社会、算数、音楽、総合的な学習の時間、学級活動」であり、学力との関連がみられる。

Ⅲ-1 小学校

■「学習」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
4	わからないとき	① 自分一人でやってみる	79.1	88.4	80.4	71.6	63.1	25.3
		② 友だちに聞く	53.4	49.6	54.2	54.7	54.9	-5.3
		③ 家の人に聞く	87.5	89.1	89.2	84.3	78.1	11.0
		④ 学校の先生に聞く	41.1	41.8	39.8	42.1	48.3	-6.5
		⑤ 塾の先生や家庭教師の先生に聞く	18.5	16.8	15.9	22.7	35.2	-18.4
		⑥ そのままにしておく	13.3	4.8	11.1	20.9	37.2	-32.4
5	家庭学習	① 授業のための予習をする	59.3	63.1	59.2	57.4	54.4	8.7
		② 授業で習ったことを復習する	83.3	91.4	85.7	75.4	59.4	32.0
		③ 出された宿題をする	95.4	98.3	96.8	92.7	77.6	20.7
		④ 家の人から言われなくても進んで勉強をする	75.3	79.5	77.5	70.0	57.9	21.6
		⑤ 自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する	78.5	82.7	80.3	74.0	61.6	21.1
6	家庭学習	① 学校のある日に、家で一人で勉強する時間(1時間以上)	65.5	73.8	66.3	59.9	49.3	24.5
		② 学校のない日に、家で一人で勉強する時間(1時間以上)	56.7	64.6	56.7	51.6	50.2	14.4
7	① 塾	1週間で学習塾に通っている日数(4日以上)	7.4	5.9	5.7	10.6	16.5	-10.6
8	学習	① 解き方が分からないときは、あきらめずに考える	80.8	90.6	83.0	72.3	56.4	34.2
		② 授業で自分の考えを書くとき、理由も書くようにしている	50.1	59.8	49.5	45.2	39.7	20.1
		③ 授業で勉強したことを普段の生活の中で活用できないか考える	65.3	70.8	65.2	62.9	53.0	17.8

- 学習内容がわからないとき、「自分一人でやってみる」、「家の人に聞く」と答えた児童の割合が高い。また、「友だちに聞く」、「学校の先生に聞く」、「学習塾や家庭教師の先生に聞く」と答えた割合は、D層の児童の方がA層の児童よりも高く、中学校の結果（A層の生徒の方がD層の生徒よりも高い）とは異なる傾向がみられる。
- 学習内容がわからないとき、「自分一人でやってみる」と答えた割合については、A層の児童の方が、D層の児童よりもかなり高い。また、「そのままにしておく」と答えた割合は、D層の児童の方が、A層の児童よりもかなり高く、学力との関連が深い。また、中学校でも同様の傾向がみられる。
- 児童の95.4%が、「出された宿題をする」と答えている。中学校でも同様の高い傾向がみられる。
- 「授業で習ったことを復習する」、「出された宿題をする」、「家の人から言われなくても進んで勉強する」、「自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する」と答えた割合については、A層の児童の方がD層の児童よりも高く、学力との関連が深い。また、中学校でも同様の傾向がみられる。
- A層の児童はD層の児童に比べ、学校のある日、ない日にかかわらず、家で一人で勉強する時間が長く、学習塾に通っている日数は少ない。
- 「解き方が分からないときは、あきらめずに考える」と答えた割合は、A層の児童の方がD層の児童よりもかなり高く、学力との関連がかなり深い。
- A層の児童の方がD層の児童よりも、「授業中で自分の考えを書くとき、考えた理由も書くようにしている」、「授業で勉強したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と答えた割合がかなり高く、学力との関連が深い。

Ⅲ-1 小学校

■「生活」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
9	① 読書	1か月の読書数(4冊以上)	73.9	84.3	76.0	64.3	54.7	29.6
10	学校以外の過ごし方	① 外で遊ぶ	87.2	83.1	88.1	88.9	85.7	-2.6
		② テレビを見たり、マンガを読んだりする	80.6	82.4	80.7	79.6	75.4	7.0
		③ テレビゲームやインターネットなどをする	59.7	61.7	58.3	60.8	60.6	1.1
		④ 本や新聞を読む	60.3	73.1	60.6	51.0	49.8	23.3
		⑤ 勉強をする	77.7	85.8	78.8	71.8	59.4	26.4
		⑥ そろばん、習字、ピアノなどの習い事をする	47.5	61.5	48.7	36.5	29.3	32.2
		⑦ スポーツクラブやスポーツ少年団などの活動をする	49.3	48.7	50.6	48.4	42.1	6.6
		⑧ 公民館や地域の活動に参加する	51.7	55.0	53.5	46.9	43.6	11.4
		⑨ 美術館、図書館、博物館などに行く	41.2	45.1	39.5	40.2	48.5	-3.4
		⑩ 家族と過ごしたり、出かけたりする	88.3	90.4	88.7	86.8	82.0	8.4
11	家での生活	① 毎朝、自分で起きる	61.6	65.5	61.4	60.0	53.7	11.8
		② 朝ごはんを毎日食べる	95.7	98.7	96.6	93.3	84.7	14.0
		③ 前日か朝に学校に持って行くもの確かめている	89.3	95.0	91.2	83.7	69.5	25.5
		④ 身の回りのことは、できるだけ自分でする	86.1	91.1	87.1	82.5	69.2	21.9
		⑤ 勉強する時間を自分で決めて実行する	62.2	66.0	62.8	59.4	54.2	11.8
		⑥ 夜、決まった時間に寝る	60.4	64.9	60.3	57.7	55.4	9.5
		⑦ 家族でいろいろな話をする	83.8	90.1	85.1	78.9	66.7	23.4
		⑧ テレビを見る時間など家の人とルールを決めている	60.8	67.8	60.3	57.4	53.7	14.1
		⑨ 家の手伝いをする	85.0	84.9	86.2	83.6	78.6	6.3

- A層の児童の方がD層の児童よりも「1か月の読書数」が多く、学力との関連が深い。また、中学校でも同様の傾向がみられる。また、1か月に4冊以上読書をする と答えた小学5年生は73.9%で、昨年度の70.4%より3.5ポイント上がっており、これはA層～D層全ての階層で見られる傾向である。
- 学校以外での過ごし方については、「外で遊んだり家族と過ごしたりすること」が多く、昨年度と同様の傾向がみられる。「美術館や図書館、博物館などの文化施設に行く」、「そろばん、習字、ピアノなどの習い事をする」、「スポーツクラブやスポーツ少年団などの活動に参加する」、「公民館や地域の活動に参加する」の割合が低い。
- 児童の約8割が、学校以外での過ごし方において、「テレビを見たり、マンガを読んだりする」と答えている。また、A層の児童の方が、D層の児童よりも「本や新聞を読む」、「勉強をする」、「そろばん、習字、ピアノなどの習い事をする」と答えた割合が20ポイント以上高い。
- 児童の95.7%が朝食を毎日食べていると答えており、昨年度と同じ割合である。
- 家での生活においては、A層の児童の方が、D層の児童よりも「前日か朝に学校に持って行くもの確かめている」、「身の回りのことは、できるだけ自分でする」、「家族でいろいろな話をする」と答えた割合が20ポイント以上高く、昨年度と同様の傾向であり、学力との関連が深い。

Ⅲ-1 小学校

■「自分」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
12	自分に 関する こと	① 物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある	91.5	95.8	93.2	87.6	72.7	23.1
		② 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している	78.7	83.3	79.6	75.3	65.5	17.8
		③ 自分には、良いところがあると思う	78.1	83.6	79.2	73.3	67.0	16.6
		④ 将来の夢や目標がある	89.3	91.7	90.5	86.2	81.0	10.7
		⑤ 新聞やテレビのニュースなどに関心がある	66.7	79.0	65.6	60.4	56.7	22.3
		⑥ 学校の決まりを守っている	89.4	94.8	90.6	85.0	72.7	22.1
		⑦ 友だちとの約束を守っている	93.5	97.7	94.6	90.3	78.1	19.6
		⑧ 人が困っているときは、進んで助けている	82.3	86.1	83.8	78.9	64.5	21.6
		⑨ 近所の人に会ったときは、あいさつをしている	93.3	95.6	94.6	90.7	79.6	16.0
		⑩ 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	90.2	94.4	91.5	86.3	76.1	18.3
		⑪ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	93.1	95.8	95.2	89.4	75.6	20.2
		⑫ 人の役に立つ人間になりたいと思う	93.0	96.1	94.2	89.9	79.8	16.3

- 肯定的な回答をした児童の割合が90%以上の質問内容は、「物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある」、「友だちとの約束を守っている」、「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」、「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」であり、昨年度と同様である。また、中学校でも同様の傾向がみられる。
- 「自分」に関することの質問内容の肯定的な答えは、A層とD層の差が大きいものが多く、学力との関連が深い。
- 他の質問内容と比較すると「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」、「自分には、よいところがあると思う」、「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」に関して肯定的に答える割合が低い。また、中学校でも同様の傾向がみられる。

※ 「全県」は、各問いに対して肯定的な回答をした県全体の児童の割合を表している。また、A層・B層・C層・D層とは、学力検査において、全教科の最高到達度と最低到達度の差を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、学力検査で分けられた各層の児童が、各質問内容に対して肯定的な回答をした人数の割合を示したものである。

※ A層(成績上位層)－D層(成績下位層)のポイントが大きいほど、質問内容は学力と関連が深い。

Ⅲ-2 中学校

■「授業」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
1	好きな授業	① 国語	65.7	70.8	69.2	64.5	53.1	17.7
		② 社会	66.1	83.6	72.7	61.0	46.6	37.0
		③ 数学	55.2	81.2	62.8	47.0	37.3	43.9
		④ 理科	68.3	84.3	73.5	62.5	58.2	26.1
		⑤ 音楽	72.9	75.2	73.9	73.3	65.8	9.4
		⑥ 美術	72.3	71.1	71.1	75.0	67.2	3.9
		⑦ 保健体育	82.4	77.7	81.2	84.9	80.7	-3.0
		⑧ 技術・家庭	80.1	80.4	80.9	80.8	74.2	6.2
		⑨ 英語	64.4	87.5	75.2	56.7	35.2	52.3
		⑩ 道徳	65.3	63.4	65.0	66.5	64.1	-0.7
		⑪ 総合的な学習の時間	80.7	82.1	82.7	81.5	69.3	12.8
		⑫ 学級活動	87.5	89.3	89.5	88.2	75.7	13.6
2	授業理解	① 国語	85.1	94.0	90.3	82.9	66.7	27.3
		② 社会	74.2	91.7	81.5	69.1	52.1	39.6
		③ 数学	67.7	92.6	77.3	59.2	44.5	48.1
		④ 理科	73.8	91.9	79.6	68.2	58.7	33.2
		⑤ 音楽	81.1	85.6	82.9	80.6	72.7	12.9
		⑥ 美術	84.3	84.5	84.5	86.0	76.7	7.8
		⑦ 保健体育	90.3	90.6	90.9	91.1	84.9	5.7
		⑧ 技術・家庭	83.9	88.3	86.1	83.5	73.3	15.0
		⑨ 英語	68.5	93.9	80.9	59.2	37.6	56.3
		⑩ 道徳	85.9	88.8	87.1	86.3	77.7	11.1
		⑪ 総合的な学習の時間	90.4	94.2	92.8	90.1	79.4	14.8
		⑫ 学級活動	93.3	96.0	95.2	93.6	83.5	12.5
3	普段の授業	① 本やインターネットを使って、調べる活動をよく行っている	27.3	30.5	27.9	26.3	26.7	3.8
		② 自分の考えを発表する機会がある	72.7	86.5	82.3	67.1	48.1	38.4
		③ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている	76.2	84.5	78.6	75.5	63.8	20.7
		④ ノートをていねいに書いている	78.5	80.8	83.5	77.0	64.0	16.8

- 本県の中学2年生が最も好きな授業、わかる授業は学級活動である。
- A層とD層の生徒の差が大きくみられるのは、好きな授業では「社会、数学、理科、英語」、わかる授業においても「社会、数学、理科、英語」であり、学力との関連が深い。特に、「数学、英語」は、A層とD層の差が特に大きく、学力との関連がかなり深く、昨年度と同様の傾向が見られる。
- 好きな授業、わかる授業に関して、「美術、保健体育」については、A層とD層の生徒の差があまりみられない。

Ⅲ-2 中学校

■「学習」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
4	わからないとき	① 自分一人でやってみる	82.0	95.6	89.4	77.4	61.2	34.4
		② 友だちに聞く	71.5	66.0	73.2	74.3	59.8	6.2
		③ 家の人に聞く	62.8	69.8	66.7	60.8	50.9	18.9
		④ 学校の先生に聞く	34.5	45.2	37.3	31.5	27.3	17.9
		⑤ 塾の先生や家庭教師の先生に聞く	23.8	30.9	24.7	22.7	19.0	11.9
		⑥ そのままにしておく	25.4	9.0	18.1	32.2	39.8	-30.8
5	家庭学習	① 授業のための予習をする	33.9	39.3	33.7	32.5	35.7	3.6
		② 授業で習ったことを復習する	85.0	89.7	91.3	84.0	61.8	27.9
		③ 出された宿題をする	93.8	98.4	97.4	93.7	77.4	21.0
		④ 家の人から言われなくても進んで勉強をする	68.9	76.5	74.1	67.0	51.5	25.0
		⑤ 自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する	70.8	79.4	74.6	68.9	56.9	22.5
6	家庭学習	① 学校のある日に、家で一人で勉強する時間(1時間以上)	74.5	84.4	80.2	72.6	52.5	31.9
		② 学校のない日に、家で一人で勉強する時間(1時間以上)	78.8	89.1	85.3	76.3	56.2	32.9
7	① 塾	1週間で学習塾に通っている日数(4日以上)	2.3	4.8	1.5	2.0	4.4	0.4
8	学習	① 解き方が分からないときは、あきらめずに考える	66.5	91.7	78.1	57.1	39.3	52.4
		② 授業で自分の考えを書くとき、理由も書くようにしている	31.6	46.8	35.3	27.0	23.3	23.5
		③ 授業で勉強したことを普段の生活の中で活用できないか考える	42.4	55.3	46.5	38.2	33.0	22.3

- 学習内容がわからないとき、「自分一人でやってみる」と答えた生徒の割合が高い。また、「家の人に聞く」、「学校の先生に聞く」、「学習塾や家庭教師の先生に聞く」と答えた割合は、A層の方がD層の生徒よりも高く、小学校の結果（D層の児童の方がA層の児童よりも答えた割合が高い）とは異なる傾向がみられる。
- 学習内容がわからないとき、「自分一人でやってみる」割合については、A層の生徒の方がD層の生徒より高い。また、「そのままにしておく」と答えた割合は、D層の生徒の方が、A層の生徒よりも高く、学力との関連が深い。また、小学校でも同様の傾向がみられる。
- 生徒の93.8%が、「出された宿題をする」と答えている。小学校でも同様の高い傾向がみられる。
- 「授業で習ったことを復習する」、「出された宿題をする」、「家の人から言われなくても進んで勉強する」、「自分でおもしろいと思ったことを進んで勉強する」割合については、A層の生徒の方がD層の生徒よりも高く、学力との関連が深い。また、小学校でも同様の傾向がみられる。
- A層の生徒はD層の生徒に比べ、学校のある日、ない日にかかわらず、家で一人で勉強する時間が長く、学力との関連が深い。
- 「解き方が分からないときは、あきらめずに考える」割合は、A層の生徒の方がD層の生徒よりもかなり高く、学力との関連がかなり深い。
- A層の生徒の方がD層の生徒よりも、「授業中で自分の考えを書くとき、考えた理由も書くようにしている」、「授業で勉強したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と答えた割合がかなり高く、学力との関連が深い。

Ⅲ-2 中学校

■「生活」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
9	① 読書	1か月の読書数(4冊以上)	37.9	47.4	39.1	36.8	30.3	17.1
10	学校以外の過ごし方	① 外で遊ぶ	70.3	51.6	66.8	75.8	78.3	-26.7
		② テレビを見たり、マンガを読んだりする	87.7	89.9	89.3	87.7	80.4	9.5
		③ テレビゲームやインターネットなどをする	67.4	70.0	68.4	66.5	64.7	5.3
		④ 本や新聞を読む	45.9	61.9	49.3	41.9	35.8	26.1
		⑤ 勉強をする	64.1	78.2	70.4	60.3	44.0	34.2
		⑥ そろばん、習字、ピアノなどの習い事をする	25.1	35.8	29.6	21.0	15.2	20.6
		⑦ スポーツクラブやスポーツ少年団などの活動をする	46.2	44.6	46.6	47.6	41.5	3.1
		⑧ 公民館や地域の活動に参加する	19.4	16.1	20.1	20.0	17.4	-1.3
		⑨ 美術館、図書館、博物館などに行く	14.0	20.9	13.0	13.1	14.8	6.1
		⑩ 家族と過ごしたり、出かけたりする	76.4	76.9	77.7	76.8	69.4	7.5
11	家での生活	① 毎朝、自分で起きる	65.1	62.9	65.1	66.1	63.5	-0.6
		② 朝ごはんを毎日食べる	94.8	99.0	97.5	93.9	85.4	13.6
		③ 前日か朝に学校に持って行くものを確かめている	88.9	93.2	93.0	87.8	75.0	18.2
		④ 身の回りのことは、できるだけ自分でする	84.6	85.6	87.5	84.1	75.0	10.6
		⑤ 勉強する時間を自分で決めて実行する	57.1	62.5	60.9	55.1	46.6	15.9
		⑥ 夜、決まった時間に寝る	45.4	54.7	48.2	42.3	39.3	15.4
		⑦ 家族でいろいろな話をする	75.7	82.6	79.3	74.3	62.2	20.4
		⑧ テレビを見る時間など家の人とルールを決めている	35.8	41.4	38.2	33.5	31.3	10.1
		⑨ 家の手伝いをする	69.1	67.1	69.2	69.9	67.2	-0.1

- A層の生徒の方がD層の生徒よりも「1か月の読書数」が多く、学力との関連が深い。また、小学校でも同様の傾向がみられる。さらに、1か月に4冊以上読書をする と答えた中学2年生は37.9%であったのに対し、小学5年生は73.9%であった。
- 学校以外での過ごし方については、生徒は、「テレビを見たりマンガを読んだりする こと」が多く、「美術館や図書館、博物館などの文化施設に行く」、「公民館や地域の活動に参加する」、「そろばん、習字、ピアノなどの習い事をする」の割合がかなり低い。
- D層の生徒の方がA層の生徒よりも学校以外での過ごし方において、「外で遊ぶ」と答えた割合が、かなり高く、「本や新聞を読む」、「勉強をする」と答えた割合がかなり低い。
- 生徒の94.8%が、毎日朝食を食べていると答えており、昨年度と同様である。
- 家での生活においては、「前日か朝に学校に持って行く物を確かめている」、「勉強する時間を自分で決めて実行している」、「夜、決まった時間に寝る」、「家族でいろいろな話をする」に関して、A層とD層の差が大きく、学力との関連が深い。

Ⅲ-2 中学校

■「自分」に関すること

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
12	自分に関すること	① 物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある	92.2	96.3	94.8	91.8	80.6	15.7
		② 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している	64.2	70.2	66.9	62.7	55.0	15.2
		③ 自分には、よいところがある	63.6	69.2	67.1	62.0	52.7	16.5
		④ 将来の夢や目標がある	74.3	77.2	74.8	74.5	70.1	7.1
		⑤ 新聞やテレビのニュースなどに関心がある	61.2	77.5	65.9	57.1	46.7	30.8
		⑥ 学校の決まりを守っている	89.5	96.0	94.5	87.3	74.7	21.3
		⑦ 友だちとの約束を守っている	95.5	96.9	97.4	95.1	89.2	7.7
		⑧ 人が困っているときは、進んで助けている	78.3	80.5	80.9	78.0	68.5	12.0
		⑨ 近所の人に会ったときは、あいさつをしている	91.9	92.0	93.7	91.9	84.6	7.4
		⑩ 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	92.7	95.0	95.6	92.3	81.7	13.3
		⑪ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	94.4	95.4	95.9	94.4	88.3	7.1
		⑫ 人の役に立つ人間になりたいと思う	93.5	96.7	95.4	93.4	84.4	12.3

- 肯定的な回答をした生徒の割合が90%以上の質問内容は、「物事を最後までやりとげてうれしかったことがある」、「友だちとの約束を守っている」、「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」であり、昨年度と同様である。また、小学校でも同様の傾向がみられる。
- 他の質問内容と比較すると「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」、「自分には、よいところがあると思う」、「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」に関して肯定的に答える割合が低い。また、小学校でも同様の傾向がみられる。

※ 「全県」は、各問いに対して肯定的な回答をした県全体の生徒の割合を表している。また、A層・B層・C層・D層とは、学力検査において、全教科の最高到達度と最低到達度の差を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、学力検査で分けられた各層の生徒が、各質問内容に対して肯定的な回答をした人数の割を示したものである。

※ A層(成績上位層)－D層(成績下位層)のポイントが大きいほど、質問内容は学力と関連が深い。

数値についてもっと知りたい！

表に出てくる数値はどうやって求めているの？

到達度

- ・・・各所属の児童生徒が正答及び準正答である問題数の割合を示したもの
- $$= \frac{\text{できた問題数}}{\text{全問題数}} \times 100 \quad (\%)$$
- (正答+準正答)

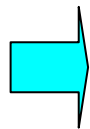
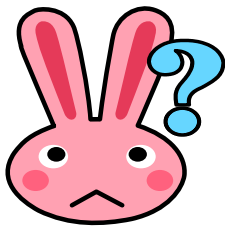
平均到達度

- ・・・児童生徒の到達度を平均した数値を示したもの
- $$= \frac{\text{到達度の合計}}{\text{児童(生徒)数}} \quad (\%)$$

目標値

- ・・・各教科、問題ごとに設定されためざす値(設定通過率)の平均を示したもの
- $$= \frac{\text{問題ごとの設定通過率の合計}}{\text{全問題数}}$$

設定通過率って？



- 1問ごとに設定されています。
- 全受検者数のうち、その問いができた人数の割合をめざす値として設定しています。
- 各教科の問題の特性に応じて決められています。

達成率

- ・・・到達度が目標値に達している児童生徒の割合を示したもの
- $$= \frac{\text{到達度が目標値に達している児童(生徒)数}}{\text{全児童(生徒)数}} \times 100 \quad (\%)$$

設問別通過率

- ・・・設問ごとにできた児童生徒の割合を示したもの
- $$= \frac{\text{各設問ができた児童(生徒)数}}{\text{全児童(生徒)数}} \times 100 \quad (\%)$$

A層～D層についてもっと知りたい！

A層～D層の値って何のためにあるの？

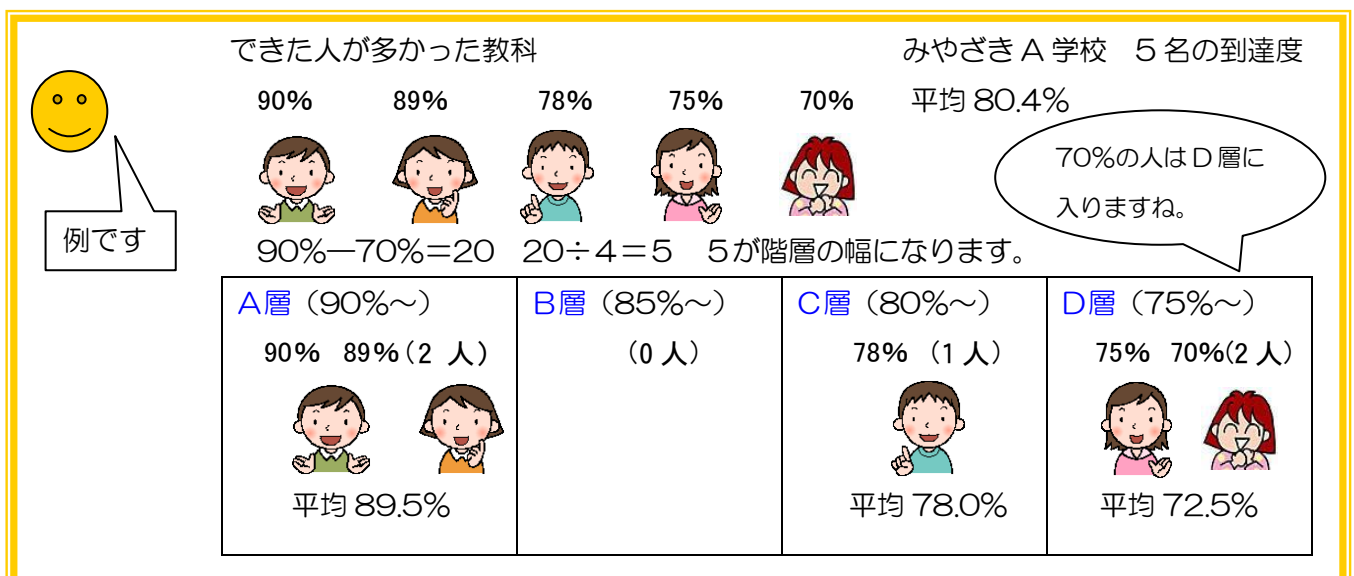
みやざき小中学校学力調査は、教科によって問題の数や内容が違います。また、結果は得点ではなく到達度(できた割合%)で表しています。ですから、結果が出たときに、問題ごとの到達度や個人差の大きい問題はどれかなど、集団や個人で比べるための目印となるよう示しています。

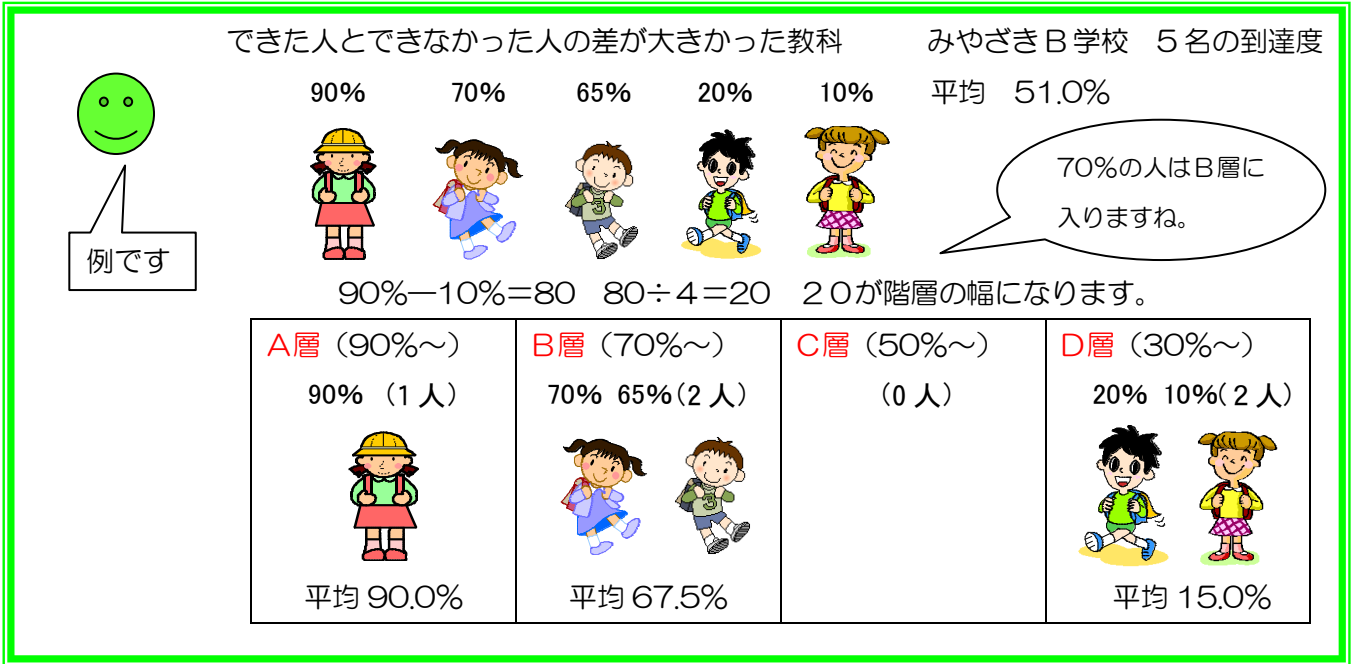
- A層～D層の値は、同じ教科や教科どうしにおける定着の違いを比べるための目印になるものです。
- 全教科のA層～D層の結果と、意識調査の結果とを比較することで、「このテストができた人はこんな意識をもって生活している傾向がある。」等、学力と意識との関連を見つけるための参考にすることもできます。

A層～D層ってどうやって求めているの？

簡潔に言うと、最高点(到達度)と最低点(到達度)の範囲を上位から4等分して、A～Dとしています。

- 教科ごとに個人の到達度を出して、集団ごとに最高点(到達度)と最低点(到達度)の範囲を求めます。
- 求めた範囲を4等分して、階層を決めます。最も高い層から順に、ABCD層となります。





A層～D層は、集団や教科ごとに、個人の到達度を使ったクラス分けのようなものです。単純に人数で均等に分けたものではありません。

A層～D層の分け方はいくつあるの？

教科ごとと、全教科を合わせた結果で、A層～D層をそれぞれ求めています。つまり、下の表のように、小学校は5通り、中学校は6通りあります。

		A層	B層	C層	D層
小学校	国語				
	社会				
	算数				
	理科				
	4教科				

教科ごとの分け方は、教科ごとの全体概要や設問別通過率で利用されています。

		A層	B層	C層	D層
中学校	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	英語				
	5教科				

全教科の分け方は、意識調査の結果分析で利用されています。

A層～D層の数値でどんなことがわかるの？

全体概要【資料1】では

県全体の各層の中に、何%の児童生徒がいるのかがわかります。

教科別概要【資料2】では

県全体の各層に入っている児童生徒の中で、何%の人ができたのか（平均到達度や達成率）がわかります。

設問別解答状況一覧【資料3】では

県全体の各層に入っている児童生徒の中で、何%の人がその問題ができたのか（通過率）がわかります。また、例えばA層とD層の中で、できた人の割合の差がわかります。

個人の成績表【資料7】では

個人の到達度が、県全体のA層～D層のどの階層に入っているかがわかります。

※印の意味 A層…◎（よくできる） B層…○（できる）
 C層…△（ややできる） D層…▲（がんばろう）

どんなところを見て分析すれば、何がわかるの？

【資料1では】

- 県全体のA層～D層に、何%の児童生徒がいるかによって、できた教科とできなかった教科がわかります。
- A層～D層の割合を、教科で比べると、教科によって、上位層と下位層のどちらが多い傾向にあるのかがわかります。

【資料2では】

- 観点・領域・分類の項目において、平均到達度や達成率を比べると、教科ごとに、できた（できなかった）観点・領域・分類がわかります。

【資料3では】

- 各設問を通過した割合（通過率）が、高い（低い）ことで、できた問題（できなかった問題）がわかります。
- A層とD層の差が大きい問題は、できた児童生徒とできなかった児童生徒の差が大きい傾向の問題であることがわかります。

【資料8では】

- 授業、学習、生活、自分に関する意識調査において、A層とD層の差が大きい設問は、学力調査の結果と関連が深いことがわかります。